

## 平成27年度 第2回総合教育会議次第

日 時 平成27年11月12日(木)  
午前10時から  
場 所 小杉庁舎303,304会議室

### 1 開会

### 2 挨拶

### 3 議題

#### (1) ふるさと教育の推進について

資料1 射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

資料2 ふるさと教育の主な事業について

資料3 部局横断が必要な事業例

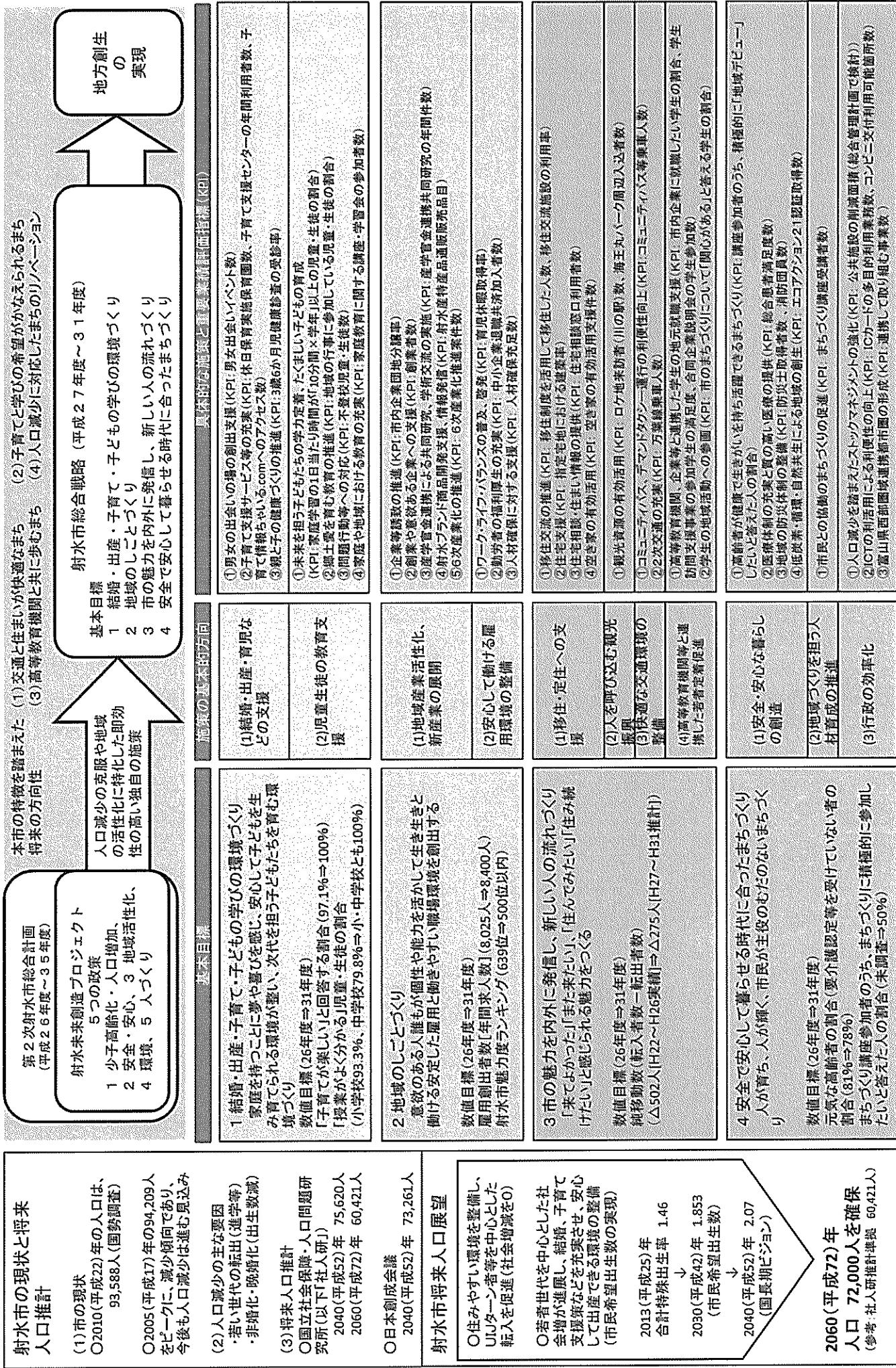
#### (2) 平成27年度 全国学力・学習状況調査の結果と今後の対応について

資料4 平成27年度 全国学力・学習状況調査における今後の射水市の取組  
について

### 4 閉会

# 射水市まち・ひと・しごと創生総合戦略～選ばれるまち快適安心居住都市へ

資料1



## ふるさと教育の主な事業について

※予算額空欄は、長窓の中での取組のため必要に応じて学校配当予算の中に対する額

【学校教育】		※予算額空欄は、長窓の中での取組のため必要に応じて学校配当予算の中に対する額	
主な事業名	予算 (千円)	内容等	内容等
①歴史・文化			
大切にしよう優たちの〇〇を! 見つけよう優たちにできること		地図の歷史、伝統文化、行事やそれを支える人々との関わりを理解を深め、地域の一員としてよりよい郷土をつくることとする。	
○○祭りについて調べよう	461	猿舞小学校と姉妹校交流を通じ、金山と渋谷のよさを互いに理解し合い、自然愛や郷土愛を育てる。 市内に伝わる伝統的な祭り(やんさんま、風まつり、みこし祭り、鬼山まつり、のじた踊り等)について人々の生活と結びつけながら調べる。	
獣楽小学校の友達と仲良くなろう		市内に伝わる文化財放生津八幡宮、加茂神社、横田神社、小杉天仏、串田翁遺物等について実際に現地に行つて調べたり、文献で調べたりする。	
○○祭りについて調べよう		クラブ活動で地元に伝わる獅子舞や曳山稚子を地域の方から教わり、舞いや演奏を練習し、祭りを受け継いでいく。	
②自然環境			
獣子舞、曳山稚子を演奏しよう		校区内の川と人々の生活との関わりについて調べる。川に棲む生き物を調査、観察をして郷土の自然の素晴らしさを感じ取る。	
ふるさとの川 大発見		校区に生息する水生生物の世話や觀察を通して、いのちの大切さを感じるとともに、地域の環境を守つていこうとする意識を高める。	
川の森づくり			
③食			
米づくり		学校田で苗から稻を育て、米を収穫する。収穫した米(餅米)を使って昔からの料理を体験し、郷土と食のつながりを実感する。	
④産業			
「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」	1,986	市内の中学2年生の生徒が週間学校を離れて、地域の事業に貢献する事業所の役割等を理解する。	
特産品について学ぶ		郷土の土地を生かした漁業や農作物のブランド化、豊かな漁場を生かした漁業について見学や体験を通して学ぶ。	
⑤人・地域			
地域学習(自分たちの地域について調べよう)		地域の人や文化、産業などについて理解を深め、調査や体験を通して課題を追究しながら、地域への愛着を育む。「正力松太郎」等の講業について調べ、偉人を生んだふるさとについて考える。	
ふるさとの偉人に学ぶ			
○○名人に学ぼう		地域で〇〇に長けた方を地域人材講師として学校へ招き、ともに活動しながら〇〇について教えてもらうことで地域のよさを学ぶ。農業、園芸、詩吟、伝統芸能等)	
⑥その他			
副読本(小学校「私たちの射水」、中学校「ふるさと射水」)の活用		副読本を活用し、児童・生徒に射水市にあるふるさと資源(歴史・自然・食・産業等)について知識として学ぶ。	

## 【生涯学習・文化・スポーツ】

主な事業名	予算 (千円)	内容等	内容等
①家庭教育			
放課後子ども教室	6,098	地域住民の方々の参画を得て、子どもたちに学習やスポーツ、文化活動など、様々な体験をさせるもの。(例: 読書、パソコン、茶道、お花、卓球)	
土曜学習推進事業	523		
じいちゃんばあちゃんの孫育て講義	50	祖父母を対象にした孫育て講座の開催	
家庭教育支援事業	82	子育てに関する講座の開催	
子育て井戸端会議	0	小学校就学時健診を利用した子育てに関する井戸端会議の開催	
家庭教育アドバイザーの家庭教育支援(会員登録)	40	家庭教育アドバイザーの家庭教育に係る活動を支援(子育て井戸端会議を実施)	
家庭教育アドバイザー連絡協議会補助金			
②生涯学習・社会教育			
ふるさと学習講座	30	ふるさとの郷土史を学ぶ講座の開催	
ボイ・ガールスカウト補助金	160	4団体への活動費を支援	
③文化財			
文化財リーフレット作成	131	リーフレットを市内小学校へ配布	
埋蔵文化財活用事業	726	特別展「弥生・古墳時代の射水」	
富山県射山町子大漁会開催	400	競演会開催助成	
④スポーツ推進			
富山マラソン2015	5,000	フルマラソン大会の開催支援	
スポーツひのまるキッズ北信越小学生道大会	900	少年柔道大会の開催支援	
全国中学校ヨット選手権大会選手派遣補助	315	射北中学校へヨット選手権補助	
スポーツ少年団活動補助	2,380	姉妹都市交流、レクリエーション、プロスポーツ交流、表彰等	
総合型地域スポーツクラブ各教室開催	0	スポーツクラブ会員を対象とした運動教室の開催	
学校体育施設開放事業	5,886	地域住民に対する施設の開放	
【その他】			
主な事業名	予算	内容等	内容等
力二給食	新潟県立	市内6年生金沢童に、地元の特産品であるベニズワイガニを味わってもらいうることで、食育の推進を図る。	児童の富山新港と新湊大橋の見学を通して、港が果たす役割に理解を深めるもの。
港と新湊大橋の見学会	港湾振興会		
富山県立大学との連携	富山県立大学	県大学生と一緒に射石ラジオを作つて楽しもう	県大学生の理数科目的学習実験(地元中学生との交流を通じて)

部局横断が必要な事業例

「ふるさと体験活動5本柱」> ①仲間の存在、交流(同世代、異世代) ②五感をふるわす ハレ感覚

③一人一人に応じた知・技の充足・深化 ④社会的関心(注目)、価値(伝統) ⑤継続性、発展性

資料 3

No.	基本的施策	主な課題	事業名(部局横断的)	主な事業内容	①	②	③	④	⑤	備考
ふるさと教育の推進	ふるさと教育の推進	1 「ふるさと射水の歴史・文化財」学び創生事業 ふるさと講座開設	新湊博物館を知る拠点化 ふるさとマイスターの養成	○ ○ ○ ○ ○ 港湾・観光ボランティア団体						
		2 コミュセンOO(地域名)ふるさと塾 孫(ひ孫)と一緒にふるさと再発見サポート	小・中学生対象 射水の歴史・文化・芸能・伝承遊び他 公共交通 公共施設一日ふるさとバシフ提示で無料	○ ○ ○ ○ ○ まちづくり課 地域振興会						
		3 ちびっ子大使 地域交流体験にご招待	ふるさとの歴史文化施設探訪 市内小学校の男女各1地域大使に任命、地域振興会が招待 大使は、後日学校放送や集会で報告 新湊等・東山見学、金山堤干見学、大門川探検、歌の森夜鹰体験、 下村稚児舞見学	○ ○ ○ ○ ○ 生活安全課 観光課との連携						
		4 5 射水環状 乗り物トライアスロン	親子で乗り物体験 射水市の乗り物に親しみながら地域を廻る コミュニバス、万葉線、渡し船、あいの風鉄道他乗り継いで射水市一周 (小杉、下村、新湊、大門、大島)コミュバス、万葉線、参加者無料	○ ○ ○ ○ ○ 健康推進課 交通安全課 交通事業者 PTA						
		6 街中(ミニ)ビオトープ補助事業	街中に僅かに残る自然環境を住民(児童生徒参加)の手で整える 金山地区の魚放流	○ ○ ○ ○ ○ 地域振興会長 環境課 農林水産課 国、民間補助 ビオトープ学会						
	郷土愛を育む教育の推進	7 在所の生き物(水生動植物)マップ 製作プロジェクト	街中に僅かに残る自然環境を住民(児童生徒参加)の手で調査し残す。 射水市歴史、文化財に関する講座開設	○ ○ ○ ○ ○ 環境課 地地域振興会						
		8 ふるさとマイスター養成事業	・警察、学校、地域で紹介されているミニ劇団によるコント	○ ○ ○ ○ ○ 港湾・観光ボランティア団体						
		9 B級コント祭り(アマ・コン祭)	市内吹奏楽のレベルアップ 吹奏楽フェア開催	○ ○ ○ ○ ○ 港湾・観光課 新湊博物館						
		10 ふるさと元気創造 「射水っ子音楽活動推進」事業	ようこそ射水の芸能鑑賞祭 市外・県外からの大学生とその家族 を招待	○ ○ ○ ○ ○ 市内高校、音楽団体						
		11 芸術文化鑑賞や体験機会の充実	富山国際大学 富山県立大学 富山高等専門学校 富山情報ビジネス学院 富山社会福祉短大他							
芸術文化活動の充実 芸術施設の充実	芸文団体や芸術家の育成	1 若きアーティストサポート事業 ※小杉は作家を多く輩出した地 小杉展示館、竹内源三記念館、匠の里他、若手アーティストの展覧 会に無料(格安)開放 アートイン小杉とのコラボ	○ ○ ○ ○ ○ 地域振興会(実行委員会)							

「平成27年度 全国学力・学習状況調査」

における射水市の結果について

平成27年 9月28日(月)

射水市教育委員会

## I 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 市教育委員会が、全国的な学力や学習状況との関係において、本市小中学校の結果を把握し、改善を図るための教育施策に活用する。
- 小中学校においては、各校の児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育指導や学習状況の改善等に活用する。

## II 実施概況（射水市小中学校）

- 実施期日 平成27年4月21日（火）
- 調査内容
  - ・学力調査（教科に関する調査）  
（小学校）国語、算数、理科（3年ぶりに実施）  
（中学校）国語、数学、理科（3年ぶりに実施）
  - ・学習状況調査（質問紙調査）  
児童生徒、学校
- 実施学校数、実施児童生徒数

射水市 小中学校	小学校 6年		中学校 3年	
	実施学校数	実施児童数	実施学校数	実施生徒数
	15校	865名	6校	909名

### ※ 用語説明

平均正答率	平均正答数を百分率で表示 <ul style="list-style-type: none"><li>○ 国語A、国語B、算数・数学A、算数・数学B、理科ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率（概数） ※ A：主として「知識」に関する問題 B：主として「活用」に関する問題</li><li>○ 学習指導要領の領域、評価の観点、問題形式、設問ごとの平均正答率は、それぞれの正答児童生徒数を全体の児童生徒数で割った値の百分率</li></ul>
-------	---

### III 平成27年度全国学力・学習状況調査の結果について

射水市教育委員会においては、学力向上のための取組を積極的に推進し、各小中学校で授業改善に取り組んだこともあり、平均正答率等の調査結果に成果がみられた。

平成26年度から「射水市学力向上委員会」を立ち上げ、その結果を詳細に分析・考察し、授業方法の改善や学習習慣の定着、学力向上対策に反映してきた。今後も各小中学校の継続的な取組を支援していくこととする。

#### 1 学力調査の結果について（教科区分別平均正答率）

- 本市は、小学校・中学校とも、全ての教科区分において、全国平均を上回った。小学校は、全ての教科区分において県平均を上回り、大きな改善がみられた。
- 3年ぶりに実施された理科では、小学校・中学校とも全国平均を4ポイント以上、上回った。
- 小学校は、国語、算数とも活用力（B問題）の定着に改善の成果がみられた。
- 中学校は、ほぼ昨年同様の結果であった。国語の活用力が改善されたが、数学の活用力の定着に課題が残った。

(単位：%)

区分	小学校 6年					中学校 3年				
	国語A	国語B	算数A	算数B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
射水市	73.6	72.4	79.2	48.6	68.0	77.6	67.6	65.5	42.0	57.4
県との差	0.7	2.3	0.7	1.1	0.5	-0.5	-0.6	-1.6	-2.5	-1.8
国との差	3.6	7.0	4.0	3.6	7.2	1.8	1.8	1.1	0.4	4.4
富山県	72.9	70.1	78.5	47.5	67.5	78.1	68.2	67.1	44.5	59.2
全 国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0

※ A : 主として「知識」に関する問題

B : 主として「活用」に関する問題

【参考】（平成26年度：学力調査） ※「理科」は実施されていない （単位：%）

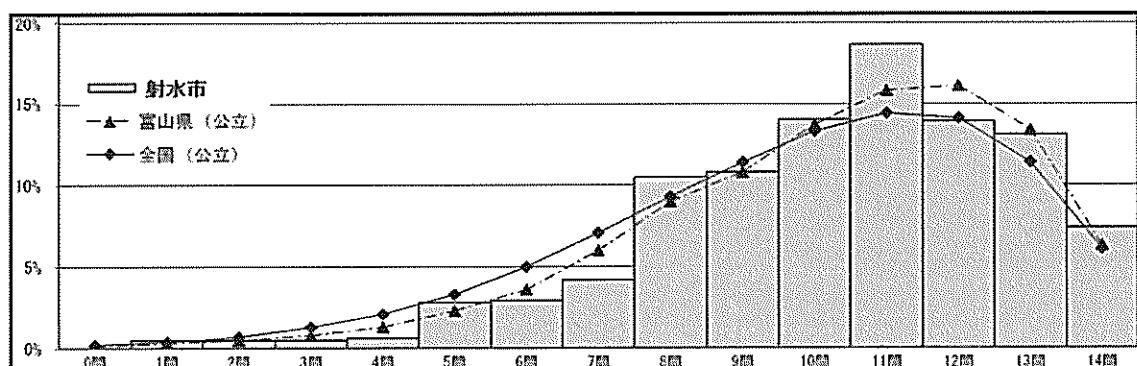
区分	小学校 6年				中学校 3年			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
射水市	71.7	56.6	77.3	57.1	81.9	53.2	69.6	62.6
県との差	-2.4	-2.9	-3.7	-4.9	-0.4	-1.9	-1.5	-1.0
国との差	-1.4	1.0	-0.9	-1.3	2.1	1.6	1.7	2.1
富山県	74.1	59.5	81.0	62.0	82.3	55.1	71.1	63.6
全 国	72.9	55.5	78.1	58.2	79.4	51.0	67.4	59.8

## 2 教科に関する結果の概況及び考察

小学校国語A

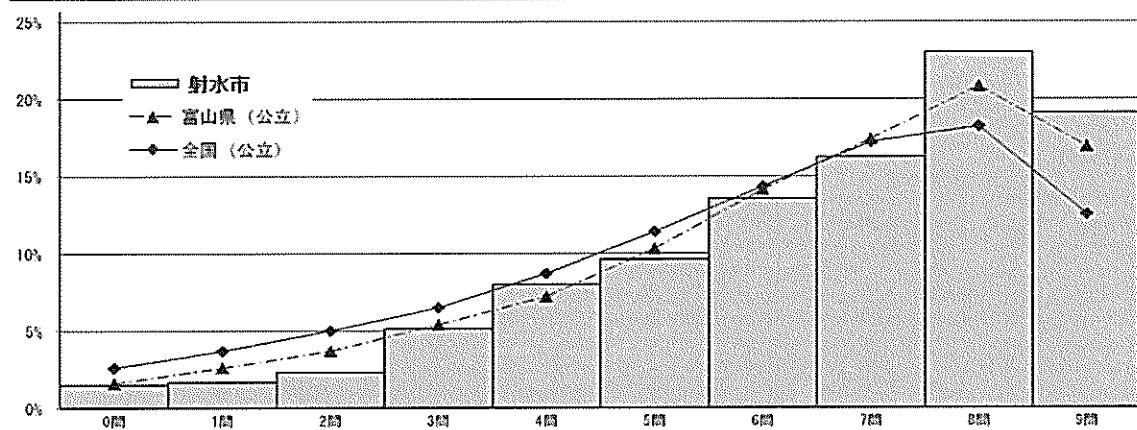
【平均正答率： ◎ 県以上 ○ 全国以上 △ 全国未満】

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
	全体	14	◎ 73.6	72.9	70.0
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	○ 55.5	56.0	53.0
	書くこと	1	○ 86.1	86.5	86.0
	読むこと	4	◎ 59.0	56.6	55.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	9	◎ 81.2	80.8	77.2
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	1	○ 55.5	56.0	53.0
	書く能力	1	○ 86.1	86.5	86.0
	読む能力	4	◎ 59.0	56.6	55.2
問題形式	言語についての知識・理解・技能	9	◎ 81.2	80.8	77.2
	選択式	7	◎ 71.1	70.3	66.4
	短答式	7	◎ 76.1	75.5	73.7
	記述式	0			



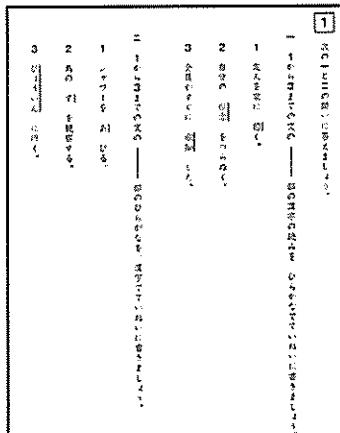
小学校国語B

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
	全体	9	◎ 72.4	70.1	65.4
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	0			
	書くこと	6	◎ 68.6	66.4	61.1
	読むこと	6	◎ 75.5	73.2	68.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	4	◎ 64.7	62.1	55.4
	話す・聞く能力	0			
	書く能力	6	◎ 68.6	66.4	61.1
	読む能力	6	◎ 75.5	73.2	68.1
問題形式	言語についての知識・理解・技能	0			
	選択式	3	◎ 73.6	72.0	68.6
	短答式	2	◎ 86.0	83.3	80.8
	記述式	4	◎ 64.7	62.1	55.4

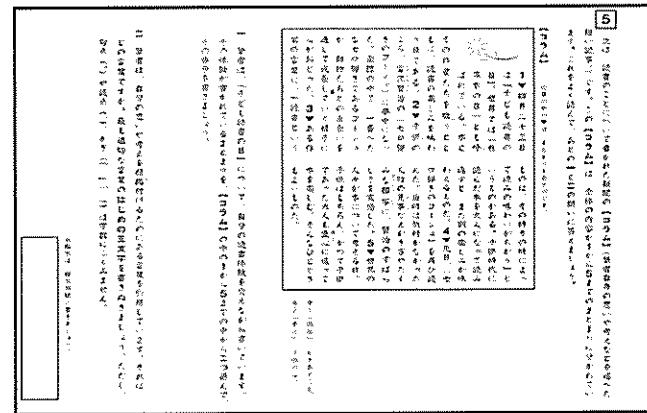


## 小学校国語

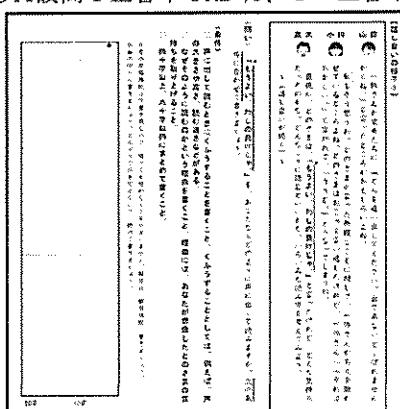
結果の概要	<p>○国語Aでは、総点において全国の正答率を3.6ポイント、県の正答率を0.7ポイント上回っている。国語Bでは、総点において全国の正答率を7.0ポイント、県の正答率を2.3ポイント上回っている。</p> <p>●無解答率は、国語A、Bの全23の設問のうち、13の設問で県を上回っている。<u>無解答率が下がるよう、粘り強く問題に取り組む指導を続けなければならない。</u></p>
A 主として 「知識」	<p>○「言語についての知識・理解・技能」の領域で、漢字の書き取り（設問1）の正答率は81.2%（「病院」を除く全ての設問）で全国・県の正答率よりも高かった。<u>文中における主述の関係及び文の意味内容を押えた指導、漢字の読み・書きの継続した指導が効果をあげていると考えられる。</u></p> <p>●「読むこと」の領域において、新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える問題（設問5二）の正答率が20.6%と低かった。<u>コラムの表現の事実、引用等、記事の書き方の工夫に注意して読むことが必要である。また「話すこと・聞くこと」の領域について、美化委員会からの提案を自分の意見と比べながら聞いている人物の感想を類型化する問題（設問3）が55.5%で、県平均を0.5ポイント下回った。「聞き方を工夫すること」について課題が見られ、話の中心や話し手の意図を捉えて聞く指導の工夫が必要である。</u></p>
B 主として 「活用」	<p>○どの設問も正答率が全国平均・県平均を上回り、特に、声に出して読むときの工夫とその理由を書く問題（設問3二）では、正答率が77.9%と県平均を3.7ポイント上回っている。</p> <p>●「書くこと」の領域において、取材したことを決められた字数の中で、条件に合わせて記事を書く問題（設問1三）の正答率が45.9%と低く、楽器の分担方法を条件に合わせて決められた字数で書く問題（設問2三）の正答率も50.6%と低かった。<u>必要な事柄を整理し文と文のつながりを考えながら書いたり、考えたことを自分の言葉でまとめたりする字習が必要である。</u></p>



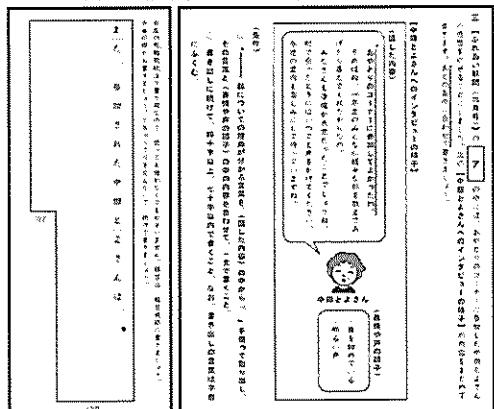
(○ A 設問1 正答率 81.2 %、1一正答率 67.4 %)



(● A 設問5二 正答率 20.6 %)



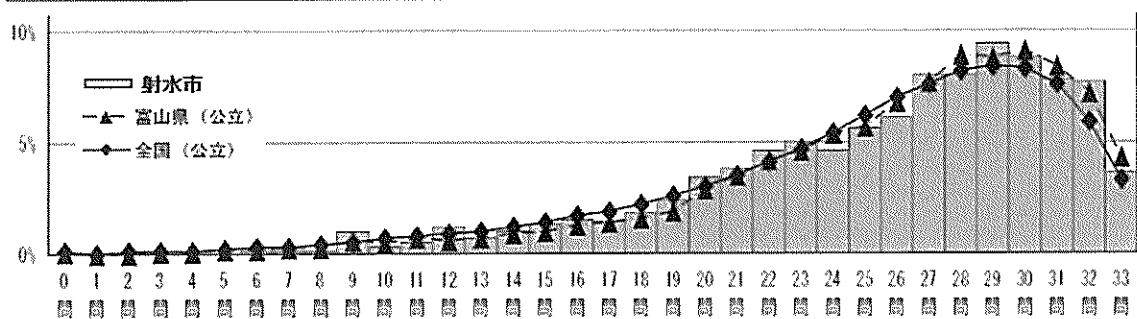
(○ B 設問3二 正答率 77.9 %)



(● B 設問1三 正答率 45.9 %)

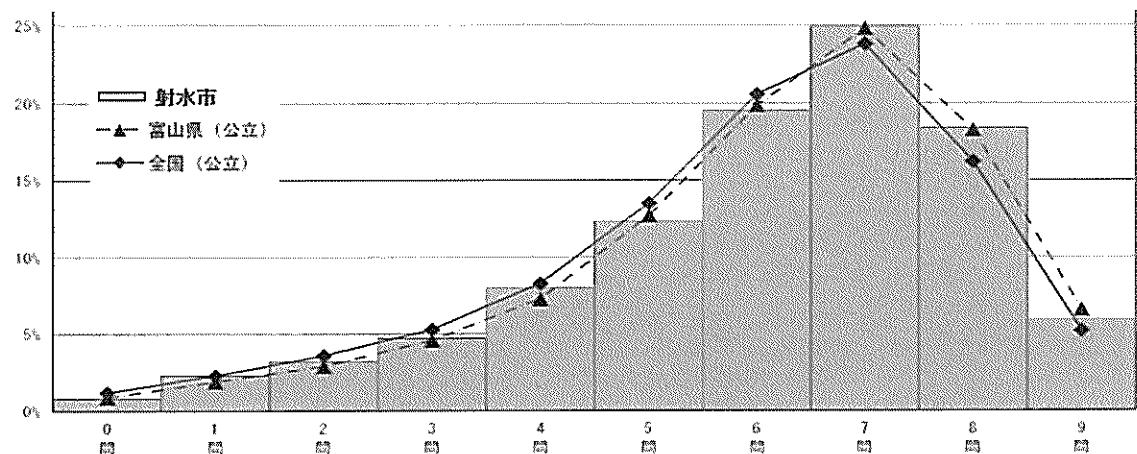
## 中学校国語A

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
	全体	33	○ 77.6	■ 78.1	△ 75.3
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	○ 80.9	■ 82.2	△ 79.7
	書くこと	5	○ 77.5	■ 78.2	△ 73.8
	読むこと	5	○ 87.2	■ 88.2	△ 86.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	19	○ 74.5	■ 74.5	△ 72.9
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	0			
	話す・聞く能力	4	○ 80.9	■ 82.2	△ 79.7
	書く能力	5	○ 77.5	■ 78.2	△ 73.8
	読む能力	5	○ 87.2	■ 88.2	△ 86.1
	言語についての知識・理解・技能	19	○ 74.5	■ 74.5	△ 72.9
問題形式	選択式	23	○ 77.0	■ 77.4	△ 75.5
	短答式	10	○ 79.2	■ 79.6	△ 76.7
	記述式	0			



## 中学校国語B

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
	全体	9	○ 67.6	■ 68.2	△ 65.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	○ 73.1	■ 74.3	△ 72.2
	書くこと	3	○ 39.0	■ 38.3	△ 38.7
	読むこと	6	○ 64.8	■ 65.1	△ 62.6
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0			
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	○ 39.0	■ 38.3	△ 38.7
	話す・聞く能力	3	○ 73.1	■ 74.3	△ 72.2
	書く能力	3	○ 39.0	■ 38.3	△ 38.7
	読む能力	6	○ 64.8	■ 65.1	△ 62.6
	言語についての知識・理解・技能	0			
問題形式	選択式	6	○ 81.9	■ 82.7	△ 80.3
	短答式	0			
	記述式	3	○ 39.0	■ 39.3	△ 38.7



## 中学校国語

結果の概要	<p>○国語A、Bとともに、全ての領域、観点、問題形式における正答率は、全国平均を0.9～3.9ポイント上回っている。</p> <p>●全ての領域、観点、問題形式における正答率は国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を除き、県平均より0.4～1.3ポイント下回っている。国語Bでは、全て県平均より0.2～1.2ポイント下回っている。</p>
A 主として 「知識」	<p>○「書くこと」の領域では正答率が77.5%と全国より3.9ポイント高く、「伝えたい事柄が明確になるように文章の構成を考える」問題（設問7一）では県平均を上回っている。また、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の正答率が74.5%と全国より1.6ポイント高い。特に、漢字の読み書きの正答率が高く、継続した指導が効果をあげたものと考えられる。</p> <p>●「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域の「単語の類別について理解する」問題（設問9四②）の正答率は24.2%にとどまり、全国より9.5ポイント下回っている。単語の品詞等の分別についての学習内容を確認する必要がある。また、「読むこと」の領域では、「目的に応じて要旨を捉える」等、5問中4問で県平均を0.7%～2.4%下回っており、文章の情報を基にして書き手の考え方や根拠を捉えることができるよう指導を工夫することが必要である。</p>
B 主として 「活用」	<p>○「書くこと」の領域の記述式の設問では3問中2問で、全国平均・県平均と共に上回った。特に、「文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして「読むこと」問題（設問3三）では、県平均を1.6ポイント上回った。また、特に、「文書の中心的・付加的な部分などを読み分け、要旨を捉える」問題（設問2二）では、県平均より1.8ポイント高い。</p> <p>●「読むこと・書くこと」の複合問題の「複数の資料から適切な情報を得て、それを具体的に書く」問題（設問2三）では、正答率が25.5%と、自県平均よりも2.8ポイント低い。資料の内容を的確に読み取った上で自分の考えをまとめて発表したり書いたりする字習活動を取り入れることが必要である。</p>

(○B設問3三 正答率 32.9 %)

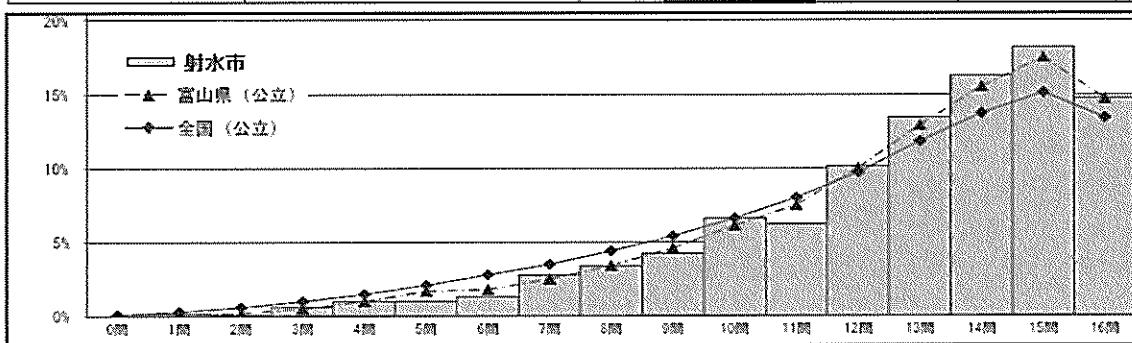
(○A設問7一 正答率 74.2 %)

(●B設問2三 正答率 25.5 %)

(●A設問9四② 正答率 24.2 %)

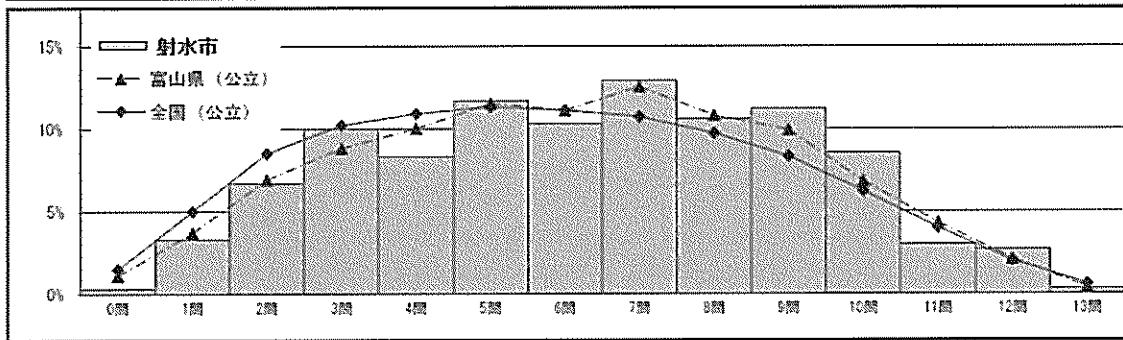
## 小学校算数A

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
	全体	16	◎ 79.2	78.5	75.2
学習指導要領の領域	数と計算	7	◎ 85.4	81.2	80.1
	量と測定	3	◎ 75.6	75.0	71.3
	図形	4	◎ 66.1	65.9	61.5
	数量関係	2	◎ 89.3	88.9	81.9
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	0			
	数量や図形についての技能	7	◎ 81.6	80.8	77.2
	数量や図形についての知識・理解	9	◎ 77.4	76.6	73.6
問題形式	選択式	5	◎ 74.1	73.7	70.5
	短答式	11	◎ 81.6	80.6	77.3
	記述式	0			



## 小学校算数B

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
	全体	13	◎ 48.6	47.5	45.0
学習指導要領の領域	数と計算	4	◎ 46.7	41.9	42.4
	量と測定	3	◎ 44.2	43.5	41.7
	図形	7	◎ 48.4	47.7	45.6
	数量関係	3	◎ 47.6	46.3	43.0
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0			
	数学的な考え方	9	◎ 38.6	38.1	35.3
	数量や図形についての技能	2	◎ 64.7	60.7	58.7
	数量や図形についての知識・理解	2	◎ 77.2	76.6	74.9
問題形式	選択式	3	◎ 73.4	72.7	70.6
	短答式	5	◎ 44.6	43.7	42.2
	記述式	5	◎ 37.6	36.1	32.5



## 小学校算数

結果の概要	<p>○算数 A、B ともに全ての領域、観点、問題形式において正答率は、全国を 1.6 ~ 4.6 ポイント上回っている。全体では算数 A は 0.7 ポイント、算数 B は県平均を 1.1 ポイント上回っている。</p> <p>●算数 A の「図形」の領域では、全国平均正答率より 1.6 ポイント上回っているが、他の領域と比べるとやや落ち込みが見られる。算数 B では、県、全国平均を上回っているものの数学的な考え方の観点で 38.6 %、記述式で 37.6 %と平均正答率は低い。</p>
A 主として 「知識」	<p>○「数と計算」の領域では、正答率 85.4 %、「数量関係」の領域では、正答率が 89.3 %となっており、概ね計算力が付いている。(設問 1、設問 2、設問 8) <u>継続した指導が効果をあげているものと思われる。</u></p> <p>●「図形」の領域では、4 問中 2 問が全国平均正答率を 0.5 ~ 2.2 ポイント下回っている。特に、二等辺三角形を円の性質と関連付けて捉える問題では、正答率 48.4 %にとどまっている。(設問 5 (1)) <u>問題の場面の図形からいえることを既習事項と関連させながら話したり書いたりできるようにする指導が必要である。</u></p>
B 主として 「活用」	<p>○「数量関係」の領域では、割り引き後の値段の正しい求め方の問題で、正答率が 61.9%で全国を 10.9 ポイント上回った。(設問 2 (3)) 「数と計算」の領域では、四捨五入し概数にして計算する問題で 58.2 %、切り上げた場合の見積もりの結果を基に考える問題で 65.9 %と全国を 3.9 ~ 5.6 ポイント上回っている。(設問 4 (1) (2))</p> <p>●「数量関係」の領域では、基準量を求める場面と捉え、比較量と割合から基準量を求める問題で正答率が 9.8 ポイントと低く、全国の正答率より 3.3 ポイント下回っている。(設問 2 (2)) <u>問題場面を図に表し数量関係を捉える指導が必要である。</u>「量と測定」「図形」の領域では、分割された二つの図形の面積が等しくなる理由を記述する問題の正答率が 14.2 %にとどまっている。無解答率も 15.6 %と高い。<u>自分の考えの根拠や理由を明確にして、発表したり書いたりする活動を充実させることが大切である。</u></p>

(○ A 設問 8 正答率 91.9%)

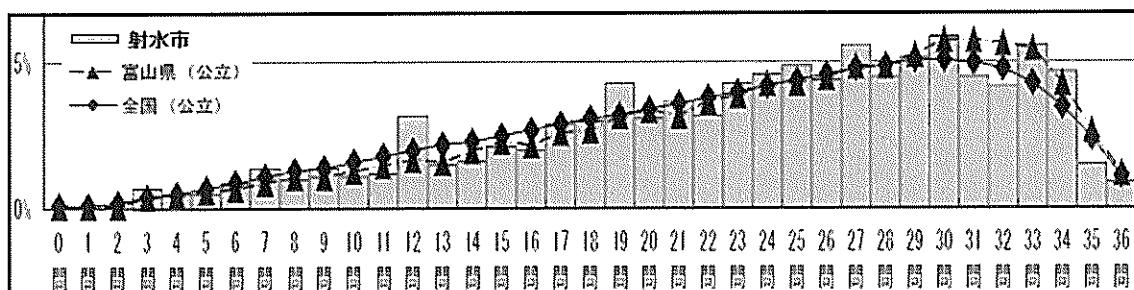
(● A 設問 5 (1) 正答率 48.4%)

(● B 設問 2 (2) 正答率 9.8 %)

(○ B 設問 2 (3) 正答率 61.9 %)

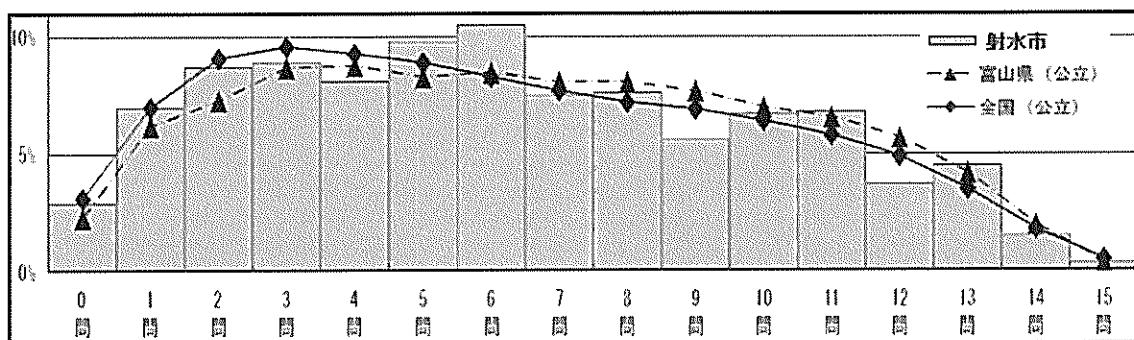
## 中学校数学A

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
	全体	36	○ 65.5	67.1	61.4
学習指導要領の領域	数と式	12	○ 69.4	69.7	67.7
	図形	12	○ 64.8	66.7	63.4
	関数	8	○ 62.0	65.4	61.7
	資料の活用	4	△ 62.9	63.6	63.0
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	0			
	数学的な技能	17	○ 66.5	67.4	65.0
	数量や図形などについての知識・理解	19	○ 64.5	66.7	63.9
問題形式	選択式	19	○ 65.2	67.2	61.6
	短答式	17	○ 65.7	66.9	61.2
	記述式	0			



## 中学校数学B

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
	全体	15	○ 42.0	44.5	41.6
学習指導要領の領域	数と式	4	○ 64.1	66.5	63.2
	図形	4	△ 37.5	40.7	39.0
	関数	5	△ 30.4	32.8	30.7
	資料の活用	2	○ 35.6	37.1	31.2
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0			
	数学的な見方や考え方	13	△ 12.8	45.1	42.8
	数学的な技能	2	○ 36.5	40.2	34.2
	数量や図形などについての知識・理解	0			
問題形式	選択式	4	△ 17.1	50.0	47.9
	短答式	4	○ 18.6	51.4	47.4
	記述式	7	○ 35.2	37.3	34.8

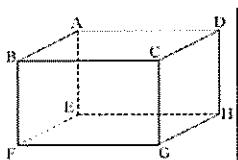


## 中学校数学

結果の概要	<p>○数学Aの「数と式」「図形」「関数」の領域では、全国の正答率を0.3～1.7ポイント上回っている。数学Bでは「数と式」「資料の活用」の領域で、全国の正答率を0.9～4.4ポイント上回っている。</p> <p>●数学A、Bとも全ての領域、観点、問題形式における正答率は、県を下回っている。特に、数学Aでは「資料の整理」の領域で全国の正答率を0.1ポイント下回っている。数学Bでは「図形」「関数」の領域、「数学的な見方や考え方」の観点、「選択式」の問題形式で全国の正答率を0.3～1.5ポイント下回っている。</p>
A 主として 「知識」	<p>○全体の正答率は全国を1.1ポイント上回り、特に直方体の与えられた辺に垂直な面を書く問題では、正答率は80.4%で県を2.9ポイント、全国を10.4ポイント上回っている。(設問5(1))</p> <p>●「関数」の領域では、全国より正答率が8問中4問で下回り特に、反比例のグラフを選ぶ問題では、正答率が57.8%で、全国より3.9ポイント下回っている。(設問10(1))「数と式」の領域では、数量の関係を文字式に表す問題で、正答率が19.8%にとどまっている。(設問2(2))基準量、比較量、割合を図や表に表すなどして捉え、書いたり話したりする学習活動を行うことが必要である。</p>
B 主として 「活用」	<p>○全体では「数と式」「関数」「資料の活用」の領域、計3問で県の正答率を上回っている。特に、資料の傾向を的確に捉え、判断理由を数学的な表現を用いて説明する問題において、全国の正答率を3.8ポイント上回っている。(設問5(2))</p> <p>●全体では、15問中8問が全国の正答率を下回っている。特に中心角の大きさと半径の間にある関係について正しい記述を選ぶ問題では、正答率が44.1%で全国を2.4ポイント下回っている。(設問6(1))また、图形に着目して考察した結果を基に、問題解決の方法を图形の性質を用いて説明する問題では、正答率が18.2%にとどまり、全国より3.0ポイント下回っている。(設問3(2))既習事項と関連づけて、自分の考えの根拠や理由を説明したり、書いたりする学習活動を工夫する必要がある。</p>

⑤ 次の(1)から(4)までの各問い合わせに答えなさい。

- (1) 下の図の直方体には辺CGに垂直な面がいくつあります。そのうちの1つを選んで書きなさい。



② 次の(1)から(4)までの各問い合わせに答えなさい。

- (2) 赤いテープと白いテapeの長さについて、次のことがわかっています。

赤いテapeの長さは  $a$  cm です。

赤いテapeの長さは、白いテapeの長さの  $\frac{3}{5}$  倍です。

白いテapeの長さは何cmですか。 $a$  を用いた式で表しなさい。

(○A設問5(1) 正答率 80.4%)

(●A設問2(2) 正答率 19.8%)

(2) 二人は、調査結果について話し合っています。

拓也さん「落とし物の合計の平均値が20.3個から19.3個に減ったから、1回目より2回目の方が落とし物の状況はよくなつたね。」

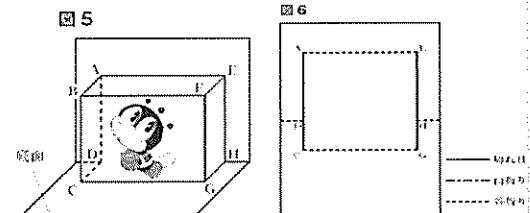
優香さん「でも、平均値だけで判断していいのかな。グラフ全体を見ると、よくなつたとは言い切れないよ。」

グラフを見ると、優香さんのように「1回目より2回目の方が落とし物の状況がよくなつたとは言い切れない」と主張することもできます。そのように主張することができる理由を、優香さんが作ったグラフの1回目と2回目の調査結果を比較して説明しなさい。

(2) 優香さんは、図5のように、縦をかく面BCGFを大きくしたいと考え、図6のように、切れ目となるAC、EGをそれぞれ同じ長さだけ上に伸ばしました。

カーブを90°に引いたとき、面BCGFが底面に対して垂直に立つようにするには、カードを開いていくときに四角形EFGHがいつでも平行四辺形でなければなりません。

このとき、点Fの位置が決まれば山折りにする線分BTをひくことができます。点Fを図6のどこにとればよいですか。点Fの位置を決める方法を、平行四辺形になるための条件を用いて説明しなさい。

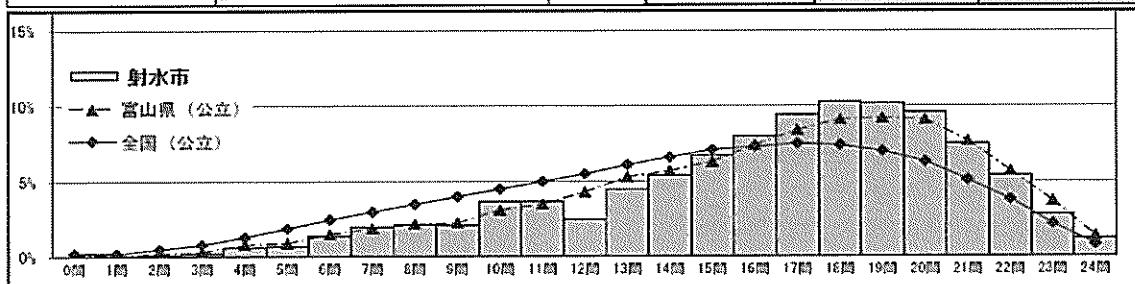


(○B設問5(2) 正答率 27.1%)

(●B設問3(2) 正答率 18.2%)

## 小学校理科

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
<b>全体</b>		24	◎ 68.0	67.5	60.8
枠組み	主として「知識」に関する問題	9	◎ 68.8	68.2	61.3
	主として「活用」に関する問題	15	◎ 67.5	67.1	60.5
学習指導要領の区分等	A区分	物質	◎ 68.0	65.3	57.4
		エネルギー	◎ 74.5	73.6	65.6
	B区分	生命	◎ 68.0	67.7	61.2
		地球	○ 60.9	62.2	57.8
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	0			
	科学的な思考・表現	15	◎ 67.5	67.1	60.5
	観察・実験の技能	5	◎ 64.0	62.5	55.5
	自然事象についての知識・理解	4	○ 74.9	75.3	68.6
問題形式	選択式	18	○ 67.6	68.1	62.9
	短答式	3	◎ 80.9	76.5	63.6
	記述式	3	◎ 57.9	55.0	45.3



## 小学校理科

結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>「知識」に関する問題では平均正答率 68.8 %と、県を 0.6 ポイント、全国を 7.5 ポイント上回っている。また「活用」に関する問題では、正答率 67.5 %と県を 0.4 ポイント、全国を 7 ポイント上回っている。</li> <li>全ての区分で全国の正答率を 2.2 ~ 10.6 %上回っているが、B 区分「地球」では、県平均を 1.3 ポイント下回っている。</li> <li>全ての観点で、全国の正答率を 6.3 ~ 8.5 ポイント上回っているが、「知識・理解」では、正答率 74.9 %と県平均を 0.4 %下回っている。</li> <li>全ての問題において、無解答率は全国を下回っている。</li> </ul>
主として 「知識」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「知識・理解」の観点では、平均正答率 74.9 %と全国の正答率を 6.3 ポイント上回っているが、県平均を 0.4 ポイント下回っている。</li> <li>月の形と場所を選ぶ問題（設問 4 (2)）の正答率は 53.9 %と低く、全国を 2.2 ポイント、県を 2.5 ポイント下回っている。<u>月の形と位置についての学習を、観察した事実と関連付けて確認する必要がある。</u></li> <li>「観察・実験の技能」の観点においては正答率 64 %と県を 1.5 %、全国を 8.5 %上回った。特に、メスシリンドラーの名称を書く問題の正答率は（設問 3 (4)）93.8 %と高い。</li> <li>星座の動きを捉えるために必要な記載事項を選ぶ問題（設問 4 (3)）では、51.4 %と全国を 3.9 ポイント、県を 4.2 ポイント下回っている。また、顕微鏡の操作方法の問題（設問 2 (4)）では、36.3 %と全国を 1.6 ポイント、県を 2.2 ポイント下回っている。<u>天体の動きを捉え記録する学習や、実験器具を正しく操作する学習に課題があることを踏まえて指導する必要がある。</u></li> </ul>
主として 「活用」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「思考・表現」の観点の平均正答率は、67.5 %と全国を 7.0 ポイント、県を 0.4 ポイント上回っている。水の温度と砂糖が水に溶ける量との関係の問題（設問 3 (6)）は、県を 4.4 ポイント上回ったが、正答率 48.5 %と低い。<u>グラフ結果を基に説明ができるよう書いたり発表したりする学習が必要である。</u></li> <li>方位の情報から観察している方位を選ぶ問題（設問 4 (1)）が 40 %と全国を 1.0 ポイント、県を 5.5 ポイント下回っている。<u>観察した事実を関連付けて方位を判断する学習の確認を行う必要がある。</u></li> </ul>

（1） おじさんは、この月の月のよさについて次のようご回答しました。

（2） おじさんは、月を見つめた場所から順に月は見るときの順序を月の月の月のよさについているか比較されました。次の順序から選んでください（一つ読んで、その番号を書き込んでも可）。

(●設問4(2)正答率53.9%)

(● 設問 4 (3) 正答率 51.4 %)

(○設問3(6) 正答率48.5%、無解答率4.4%)

(4) としおさんは、砂糖水をつくるために、水 100 mL を  
右のような器具を使ってはかりることにしました。  
としおさんが使った器具の名前を書きましょう。



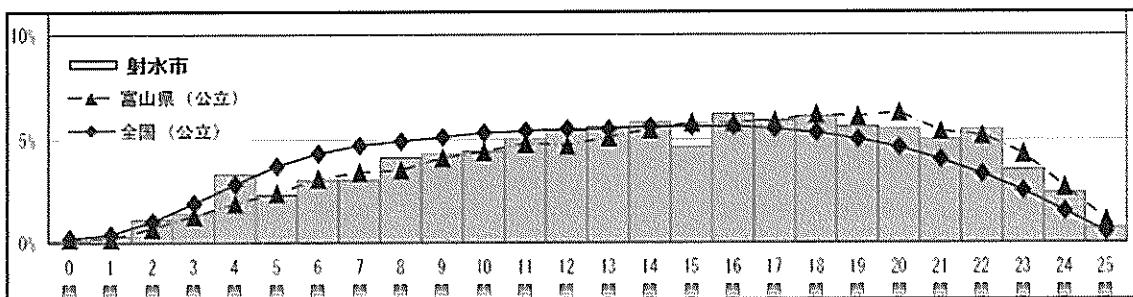
(○設問3(4) 正答率93.8%)

(●設問2(4)正答率36.3%)

(●設問4(1)正答率40.0%)

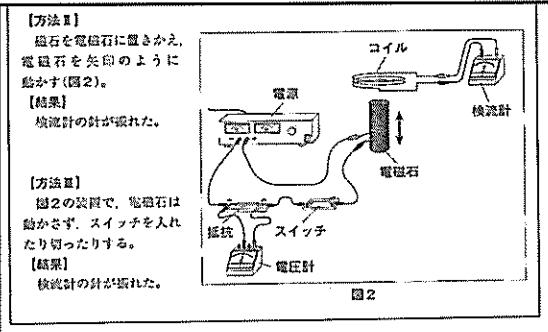
## 中学校理科

分類	区分	対象設問数 (問)	平均正答率(%)		
			射水市	富山県(公立)	全国(公立)
	全体	25	○ 57.4	59.2	53.0
枠組み	主として「知識」に関する問題	7	○ 68.8	70.8	63.8
	主として「活用」に関する問題	18	○ 52.9	54.6	48.8
学習指導要領の分野等	第1分野 物理的領域	7	○ 52.8	54.5	48.9
	化学的領域	7	○ 60.3	62.2	56.2
	第2分野 生物的領域	6	○ 67.4	69.7	62.2
	地学的領域	6	○ 50.7	51.8	46.4
評価の観点	自然事象への関心・意欲・態度	0			
	科学的な思考・表現	18	○ 52.9	54.6	48.8
	観察・実験の技能	2	○ 49.9	52.3	46.8
	自然事象についての知識・理解	5	○ 76.3	78.2	70.6
問題形式	選択式	16	○ 56.9	58.2	53.1
	短答式	4	○ 69.2	70.8	61.6
	記述式	5	○ 49.3	52.9	45.8



## 中学校理科

結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての枠組み、分野、観点、問題形式における正答率は、全国を 4.4 ポイント上回っている。</li> <li>● 枠組みにおける正答率は、主として「知識」に関する問題では県より 2.0 ポイント、主として「活用」に関する問題では県より 1.7 ポイント下回っている。問題の形式では、記述式の正答率が 49.3 %であり、全国を 3.5 ポイント上回ったが、県平均を 3.6 ポイント下回っており、<u>自分の考えの根拠や理由を明確にして書いたり発表したりする活動の充実が必要である。</u></li> </ul>
主として「知識」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「知識・理解」の観点では、平均正答率が 76.3 %であり、全国より 5.8 ポイント上回っており、特に電圧と電流から抵抗の大きさを求める問題（設問 5 (1)）は、68.5%と高く、県を 0.3 ポイント、全国を 8.9 ポイント上回っている。</li> <li>○ 「観察・実験の技能」の観点では、正答率が 49.9 %で、全国より 3.1 ポイント上回っている。</li> <li>● 特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水の質量を求める問題（設問 1 (1) 濃度）は、51.4%と県より 2.9 ポイント下回り、さらに無解答率は 14.3% と県平均より 1.2 ポイント上回っている。割合の計算に課題があり、類似問題等で理解を深めることが必要である。</li> </ul>
主として「活用」	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「科学的な思考・表現」の観点では、平均正答率 52.9%で、全国より 3.3 ポイント上回っている。特に、多くの雨が降る原因を探る実験を計画する問題（設問 3 (2)）は正答率が 48.3%で、県より 3.5 ポイント、全国より 9.3 ポイント上回っている。また、音の波形から音の高さが高くなつた根拠を選ぶ問題（設問 6 (1)）は、正答率が 46.4%と全国より 6.3 ポイント、県より 0.6 ポイント上回っている。</li> <li>● 雲の成因を説明した他者の考え方を検討する問題（設問 2 (3)）の正答率は 17.1% で、全国より 2.6 ポイント上回っているが、県より 2.8 ポイント下回っている。無解答率 8.9%で、全国、県よりも上回っている。また、電磁石の磁界の変化を説明する問題（設問 5 (2)）の正答率は 61.1%で全国より 4.3 ポイント上回るが、県平均より 3.9 ポイント下回り、無解答率は 28.5%と県より 6.6 ポイント上回っている。間違いを指摘し正しい答えを導く問題や、理由を指定された言葉を使って説明する問題に課題が見られる。観察・実験の結果などの根拠に基づいて検討し改善する力を身に付けるよう、自分の考えを明確にして書いたり発表したりする学習活動を充実させる必要がある。</li> </ul>



(1) 図2では、回路全体に大きな電流が流れないように、抵抗を接続しました。抵抗に加わる電圧が5.0Vのとき、流れた電流は0.5Aでした。接続した抵抗の大きさは何Ωですか。式と答えを書きなさい。

(○設問5(1) 正答率 68.5%)

**レポートの一節**

**問題**  
一定の時間に多くの雨が降る条件は何だろうか。

**[予想]**  
天気予報の解説から、「地上の空気の水蒸気量」と「上空と地上の気温差」の2つの条件が関係しているのではないかと予想した。

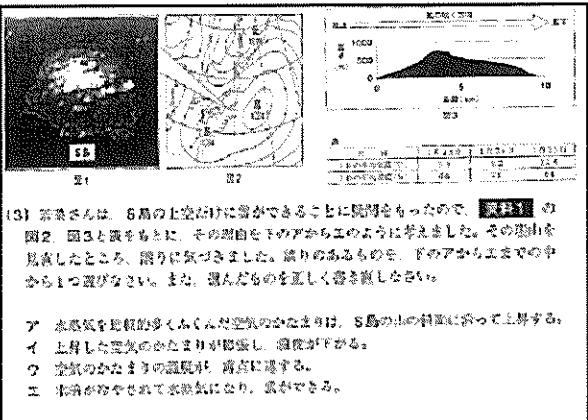
**[方法]**  
AからDまでの方法(図2)で、一定の時間に「空気の水蒸気量」の値につく水滴の様子を比較する。  
 ①「地上の空気の水蒸気量」による違いを調べるためにAとCを比較する。  
 ②「上空と地上の気温差」による違いを調べるために、を比較する。

図2

(2) [方法] の に入る最も適切なものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

ア AとB イ AとD ウ BとC エ BとD

(○設問3(2) 正答率 48.3%)



(○設問2(3) 正答率 17.1% 無解答率 8.9%)

**入浴剤の誕生日に関すること**

良子：入浴剤の主な原材料には、塩化ナトリウムがあるんだね。

太郎：そうだね。<sup>よう</sup>風呂のお湯に溶かすと濃度はどのくらいかな？

(1) 塩化ナトリウムの化学式として正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。また、5%の塩化ナトリウム水溶液100gをつくるために、必要な塩化ナトリウムと水の質量は、それぞれ何gですか。

ア NaCl イ CaNa ウ Nacl エ Clna

(○設問1(1)濃度 正答率 51.4% 無解答率 14.3%)

**レポートの一節**

**問題**  
音を水槽に近づけると、音の高さはどのように変化するのでしょうか。

**[予想]**  
音の強度を調べる(図1)。

図1

**[結果]**

図2

**[考察]**  
図2の2つの波形を比較すると、「音が始めたとき」と「しばらく経いたとき」の方が、になっているので、音の高さは高くなかったと考えられる。

(1) [考察] の に当てはまる正しいものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

ア 振動数が多く イ 強度が少なく  
 ウ 音量が大きく エ 音量が小さく

(○設問6(1) 正答率 46.4%)

**[方法Ⅰ]**  
磁石を電磁石に置きかえ、電磁石を矢印のように動かす(図2)。

**[結果]**  
検流計の針が振れた。

**[方法Ⅱ]**  
図2の状況で、電磁石は動かさず、スイッチを入れたり切ったりする。

**[結果]**  
検流計の針が振れた。

(2) [方法Ⅱ] で、検流計が振れた理由を「**説**」といい言葉を使って書きなさい。

(○設問5(2) 正答率 61.1% 無解答率 28.5%)

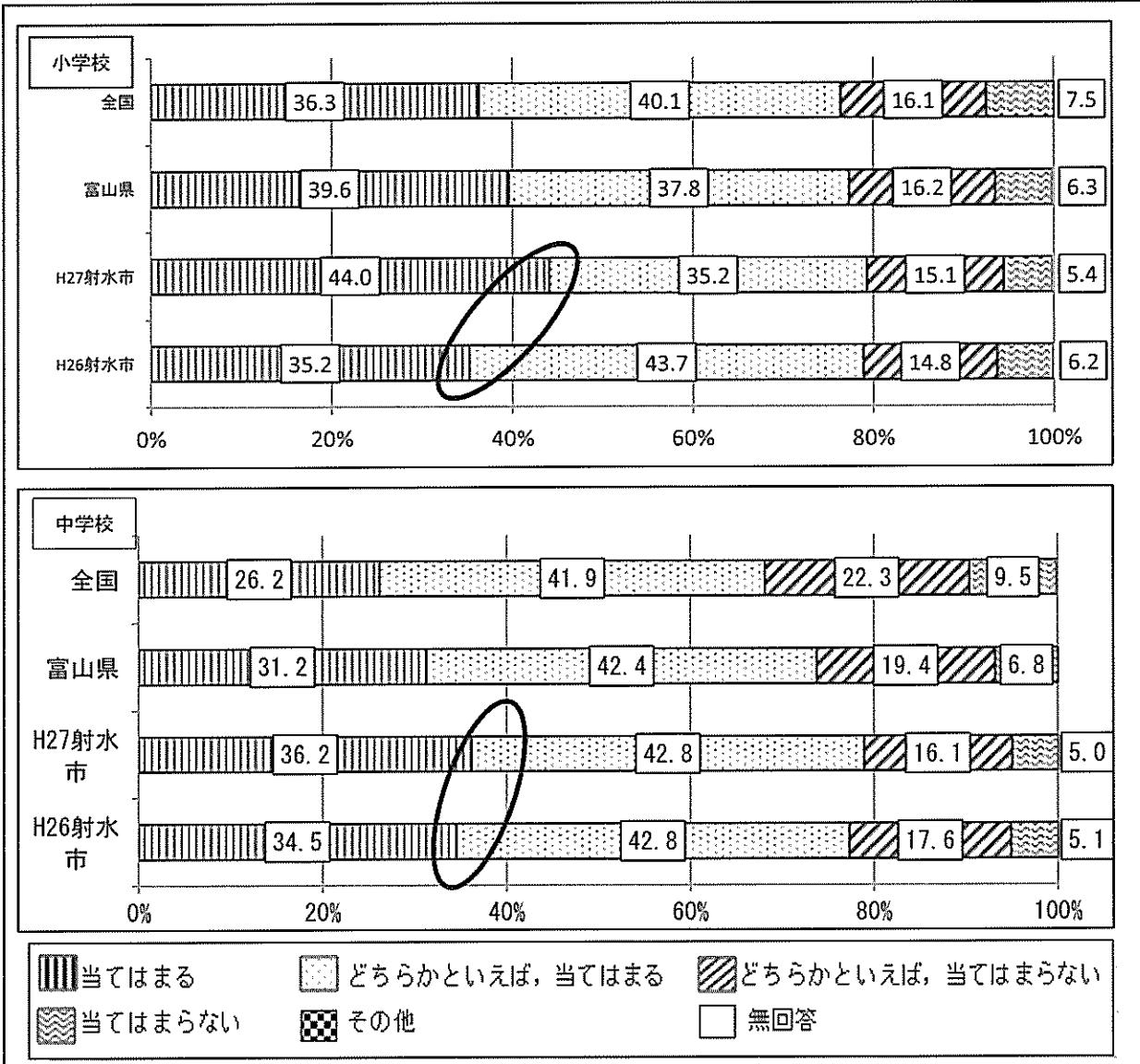
### 3 質問紙調査に関する結果の状況及び考察

【自尊感情】(児童生徒質問紙より)

Q 1 自分には、よいところがあると思いますか。



望ましい傾向



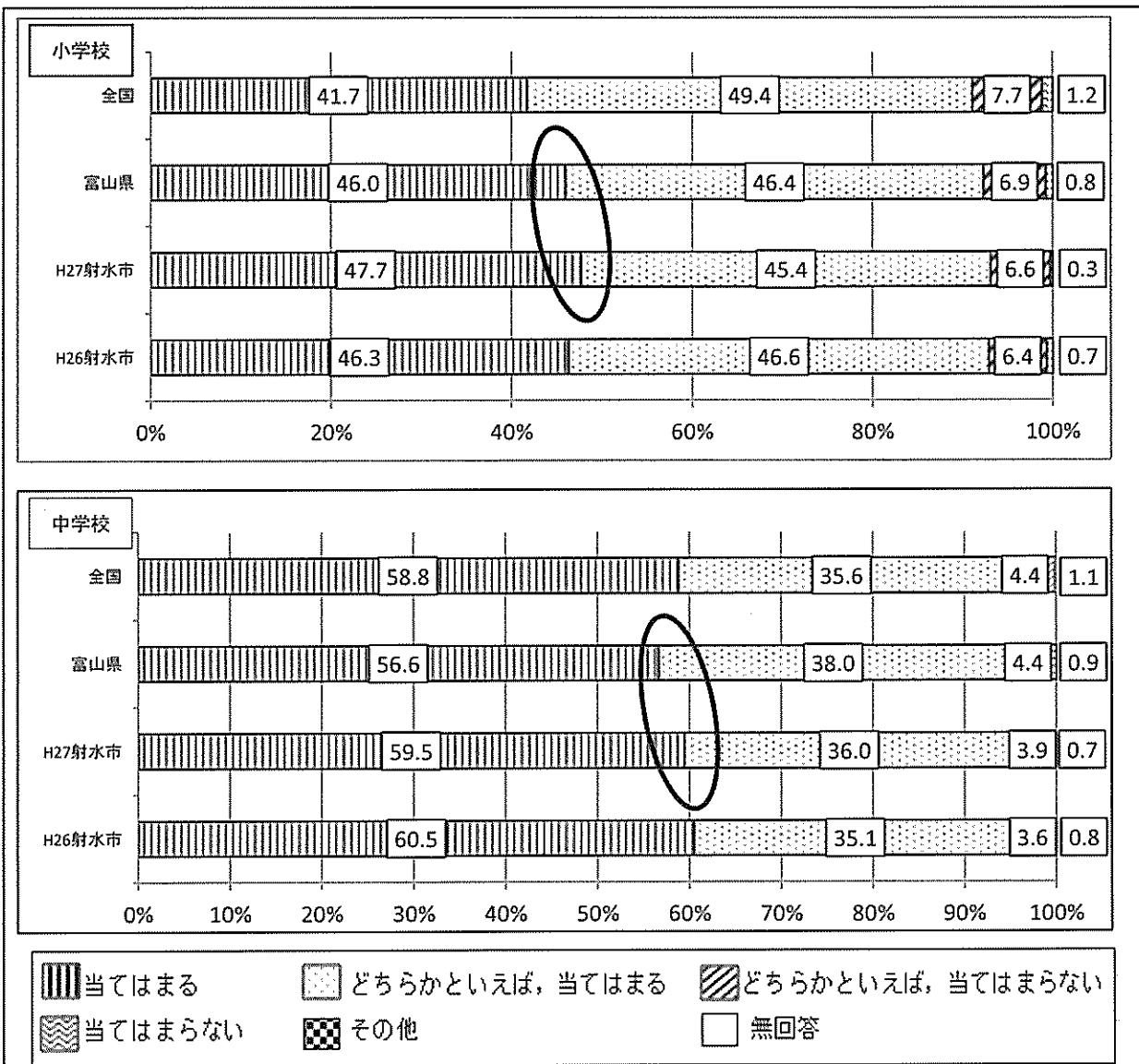
#### 【考察】

小学校で「当てはまる」児童の割合は、全国平均より7.7ポイント高く、県平均よりも4.4ポイント高い。中学校で「当てはまる」生徒の割合は、全国平均より、10.0ポイント高く、県平均よりも5.0ポイント高い。小学校、中学校ともに、「当てはまる」と答えた割合が小学校では、8.8ポイント、中学校では1.7ポイント上昇した。

小中学校ともに高い割合で、市全体で自尊感情を育てる取組をしてきた成果が表れたと考えられる。今後とも、「自己有用感」「共感的な人間関係」「自己決定」の充実を図っていくことが大切である。

【規範意識】（児童生徒質問紙より）

Q 2 学校の規則を守っていますか。



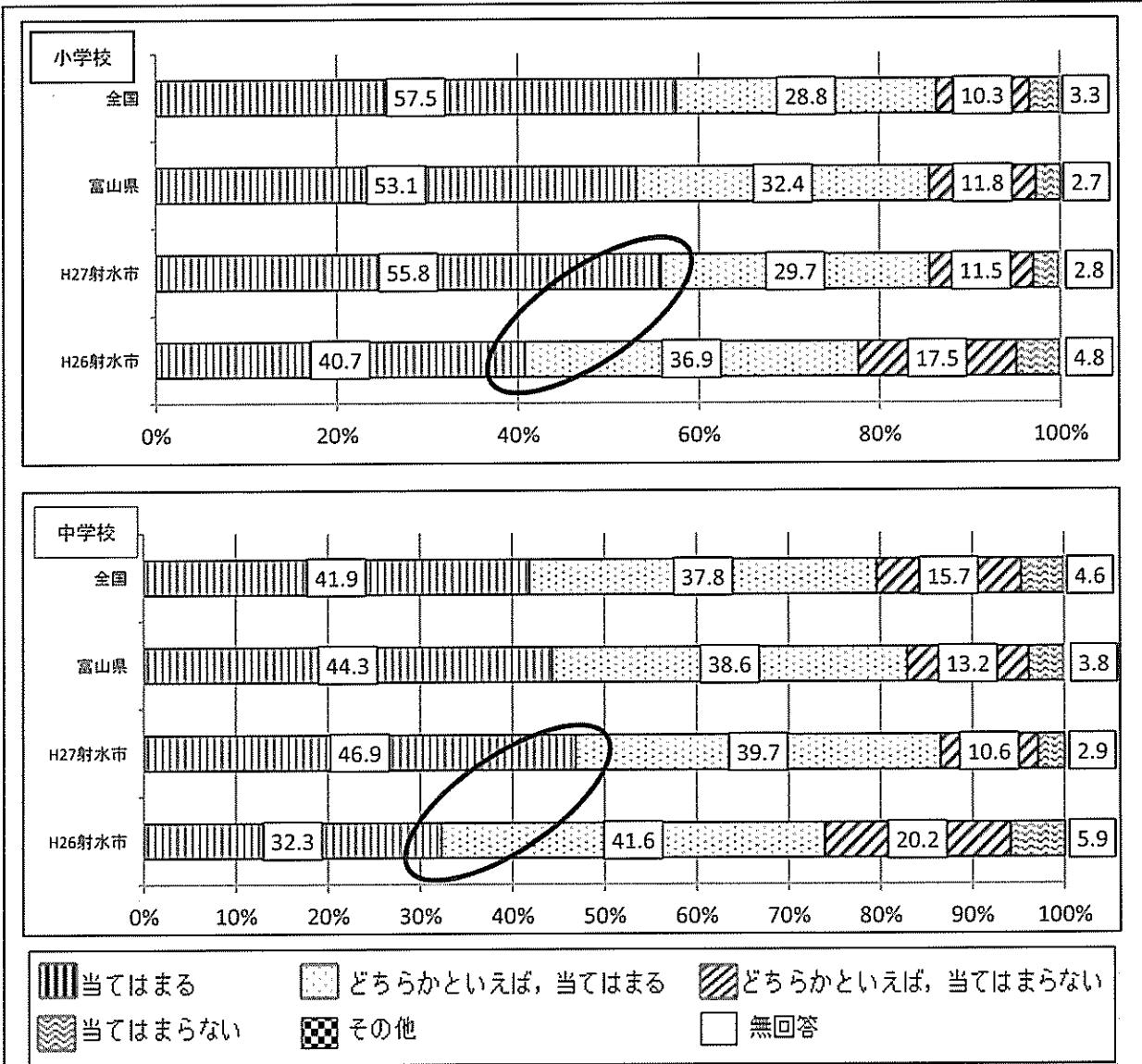
【考察】

小学校で「当てはまる」児童の割合は、全国平均より6.0ポイント高く、県平均よりも1.7ポイント高い。中学校で「当てはまる」生徒の割合は、全国平均より、0.7ポイント高く、県平均よりも2.9ポイント高い。昨年度と同様に、小学校、中学校ともに高い割合であったが、小学校で「当てはまる」と答えた児童は1.4ポイント上昇したが、中学校では1.0ポイント減少した。

自尊感情の高まりが、学校生活上の規範意識の高まりにつながっていると考えられる。

【授業】（児童生徒質問紙より）

Q 3 授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。



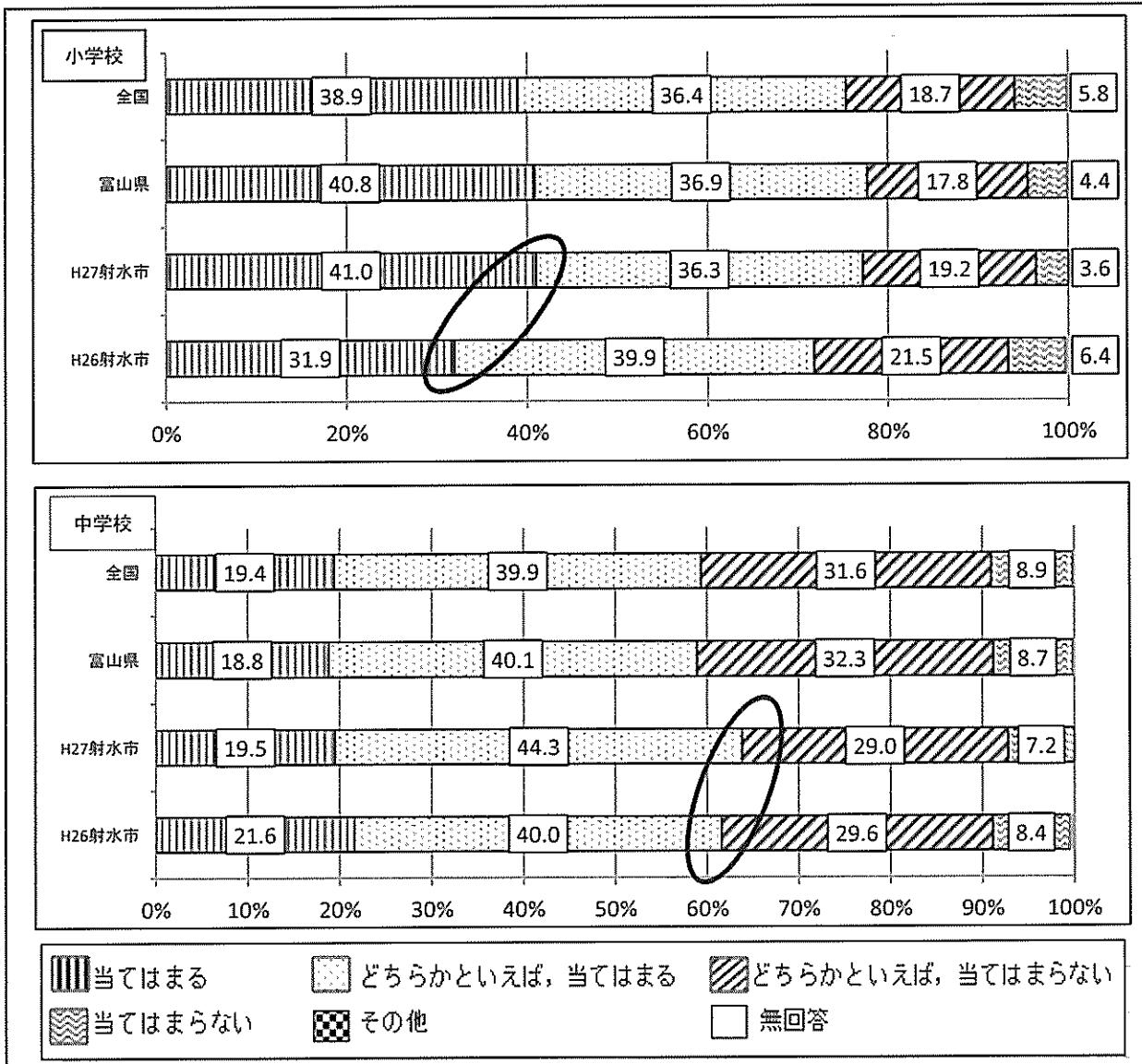
【考察】

小学校で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」児童の割合は、全国平均より0.8ポイント低く、県平均とは同ポイントであった。中学校で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」生徒の割合は、全国平均より、6.9ポイント高く、県平均よりも3.7ポイント高い。小学校、中学校ともに昨年度よりも高く、特に、「当てはまる」と答えた割合が小学校では、15.1ポイント、中学校では14.6ポイント上昇した。

小中学校ともに昨年度に比べ、目標をしっかり示した授業が展開されている。しかし、小学校では全国平均をやや下回っている。今後も、目標を示した授業が展開されるように授業改善を進める必要がある。

【授業】（児童生徒質問紙より）

Q4 授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。



【考察】

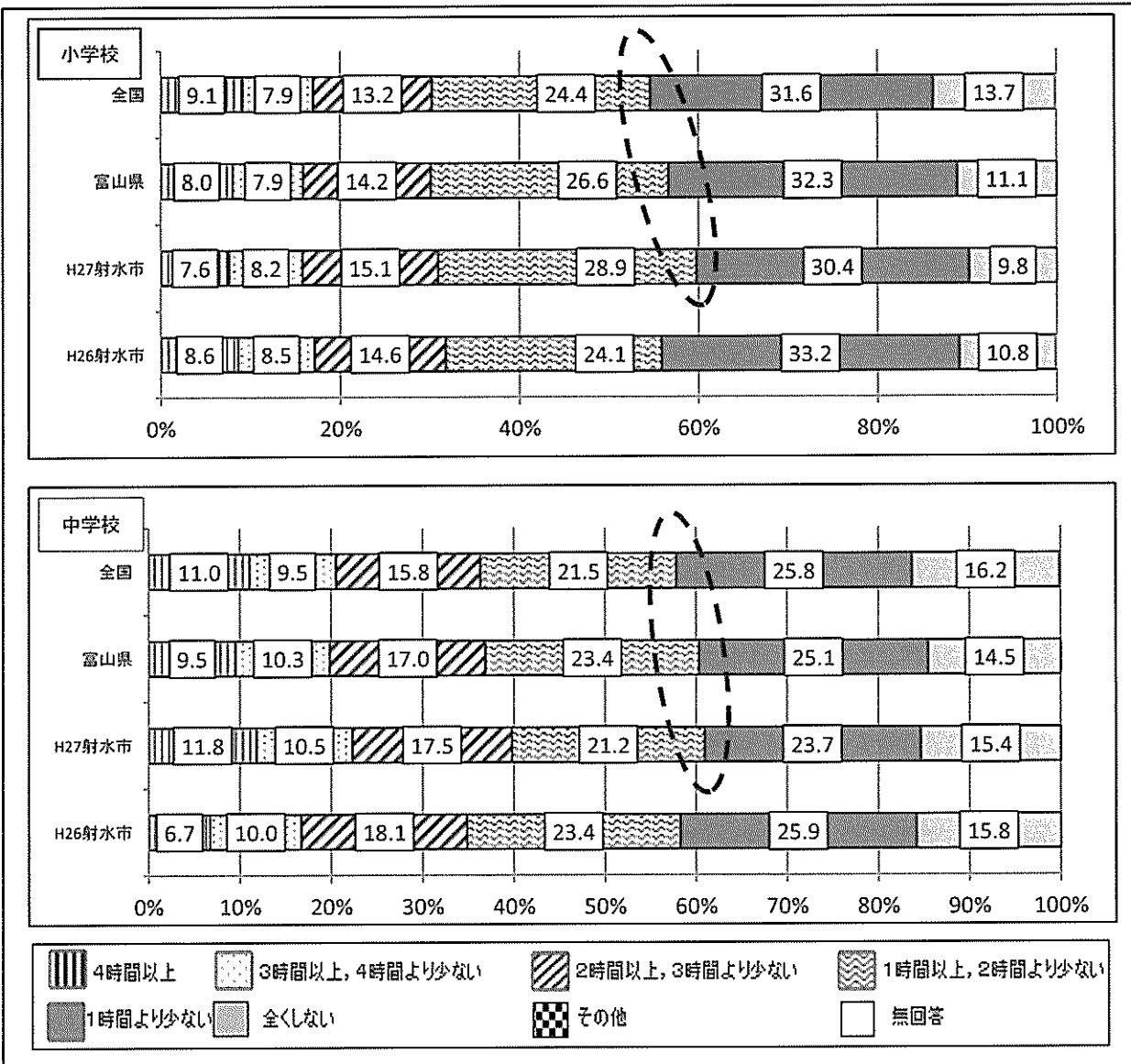
小学校で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」児童の割合は、全国平均より2.0ポイント高く、県平均より0.4ポイント低かった。中学校で「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」生徒の割合は、全国平均より、4.5ポイント高く、県平均よりも4.9ポイント高い。小学校、中学校ともに昨年度よりも高く、特に「当てはまる」と答えた割合が小学校では、9.1ポイント増加した。中学校では「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えた割合が2.2ポイント増加した。

小中学校ともに、「授業のはじめに目標が示されていたか」の項目に比べ、「当てはまる」と答えた割合が低い結果となった。振り返り活動を行う教師の授業改善があまり進んでいない。学習した内容を確実に振り返るように改善していく必要がある。

【生活習慣】（児童生徒質問紙より）

→ 課題が残る傾向

Q5 普段（月～金曜日）1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか。



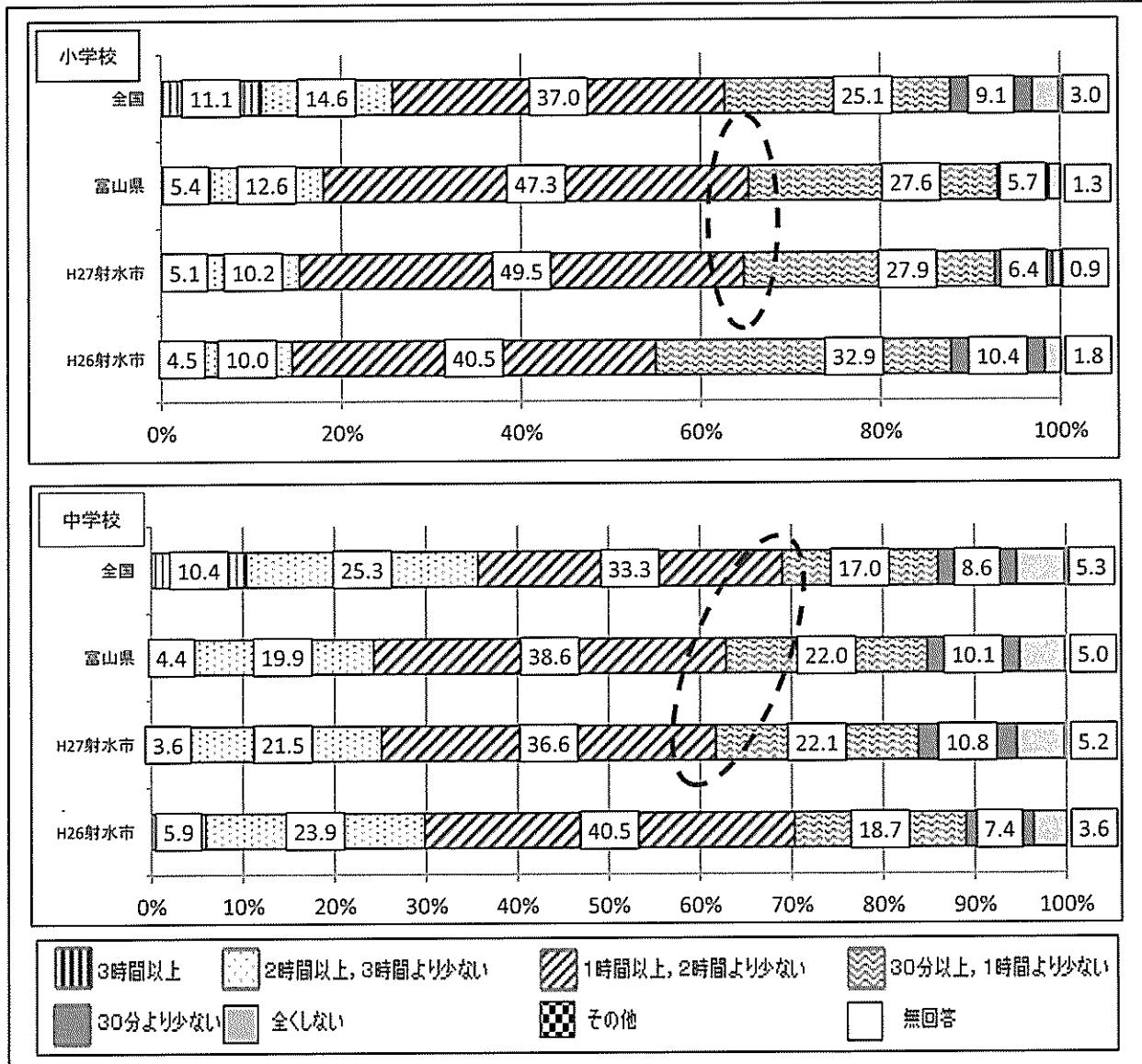
【考察】

小学校で「普段（月～金曜日）の1日あたりのゲームをする時間が1時間以上」の児童の割合は、全国平均より5.2ポイント高く、県平均より3.1ポイント高い。中学校で「普段（月～金曜日）の1日あたりのゲームをする時間が1時間以上」の生徒の割合は、全国平均より、3.2ポイント高く、県平均よりも0.8ポイント高い。小学校、中学校ともに昨年度よりも高くなり、特に中学校で「4時間以上」と答えた割合が5.1ポイント増加した。

小中学校ともに、スマートフォンやタブレットの普及に伴い、今後もゲームをする時間や割合が増加していく可能性がある。使用時間の家庭でのルールづくりや生活習慣の改善に向けた取組をしていく必要がある。

【家庭学習】（児童生徒質問紙より）

Q 6 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)。



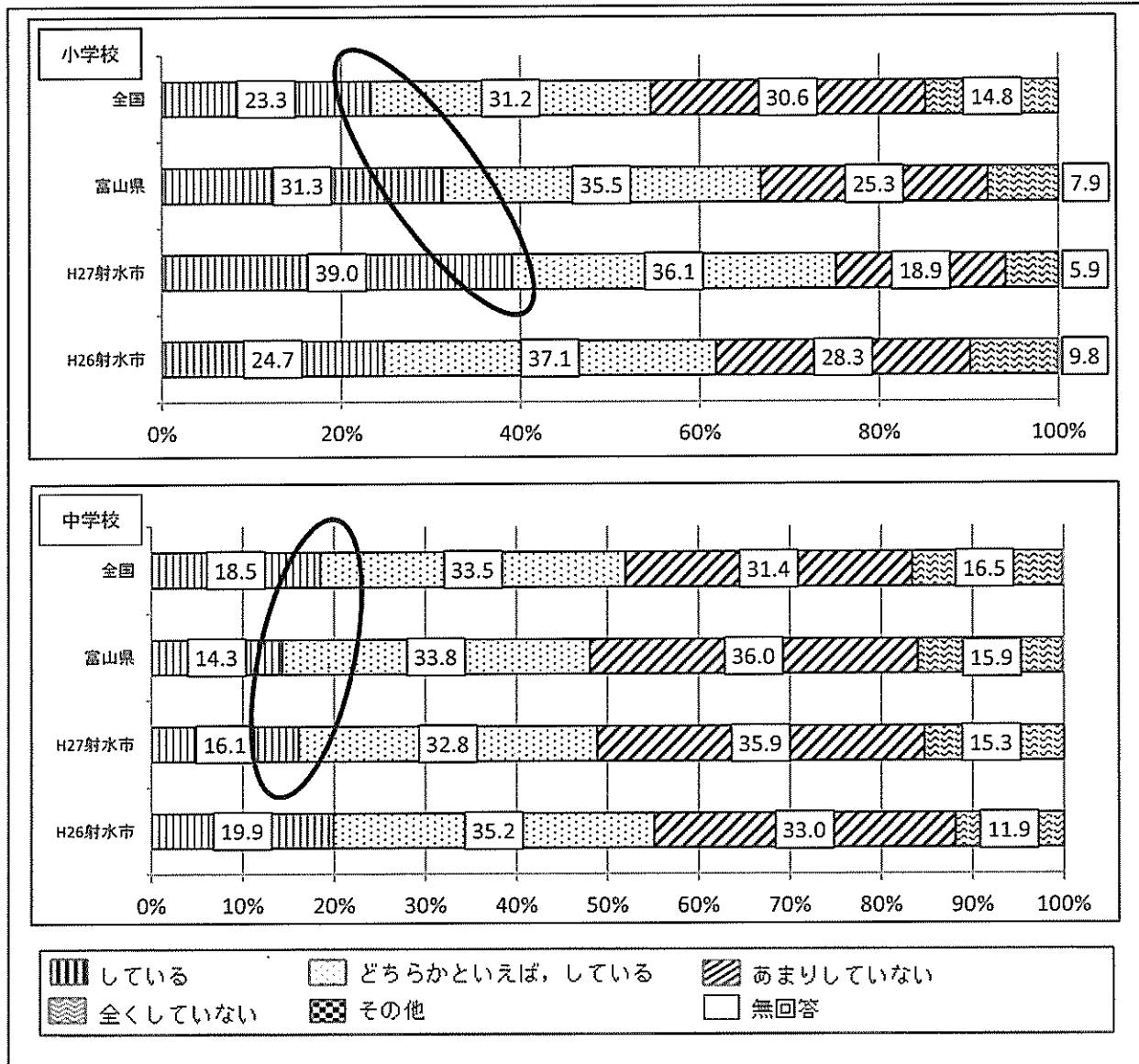
【考察】

小学校で「普段(月～金曜日)の1日当たりの勉強時間が1時間以上」の児童の割合は、全国平均より2.1ポイント高く、県平均より0.5ポイント低い。中学校で「普段(月～金曜日)の1日当たりの勉強時間が1時間以上」の生徒の割合は、全国平均より7.3ポイント低く、県平均よりも1.2ポイント低い。一方、小学校で「1時間未満」と答えた児童の割合は全国平均より2.0ポイント低く、県平均より0.6ポイント高い。中学校で「1時間未満」と答えた割合は全国平均より7.2ポイント高く、県平均より1.0ポイント高かった。

昨年度と比較すると、小学校で「全くしない」と答えた児童の割合は0.9ポイント減少した。昨年度からの指導がよい結果として表れた。しかし、中学校では「全くしない」と答えた生徒の割合は1.6ポイント増加した。家庭学習の時間が減少傾向にある原因の一つとして、ゲーム等に時間を費やす生徒の割合が増加していることが考えられる。家庭学習の定着に向けて、指導を充実させ、一層の改善を図る必要がある。

【授業の復習】（児童生徒質問紙より）

Q7 家で、学校の授業の復習をしていますか。



【考察】

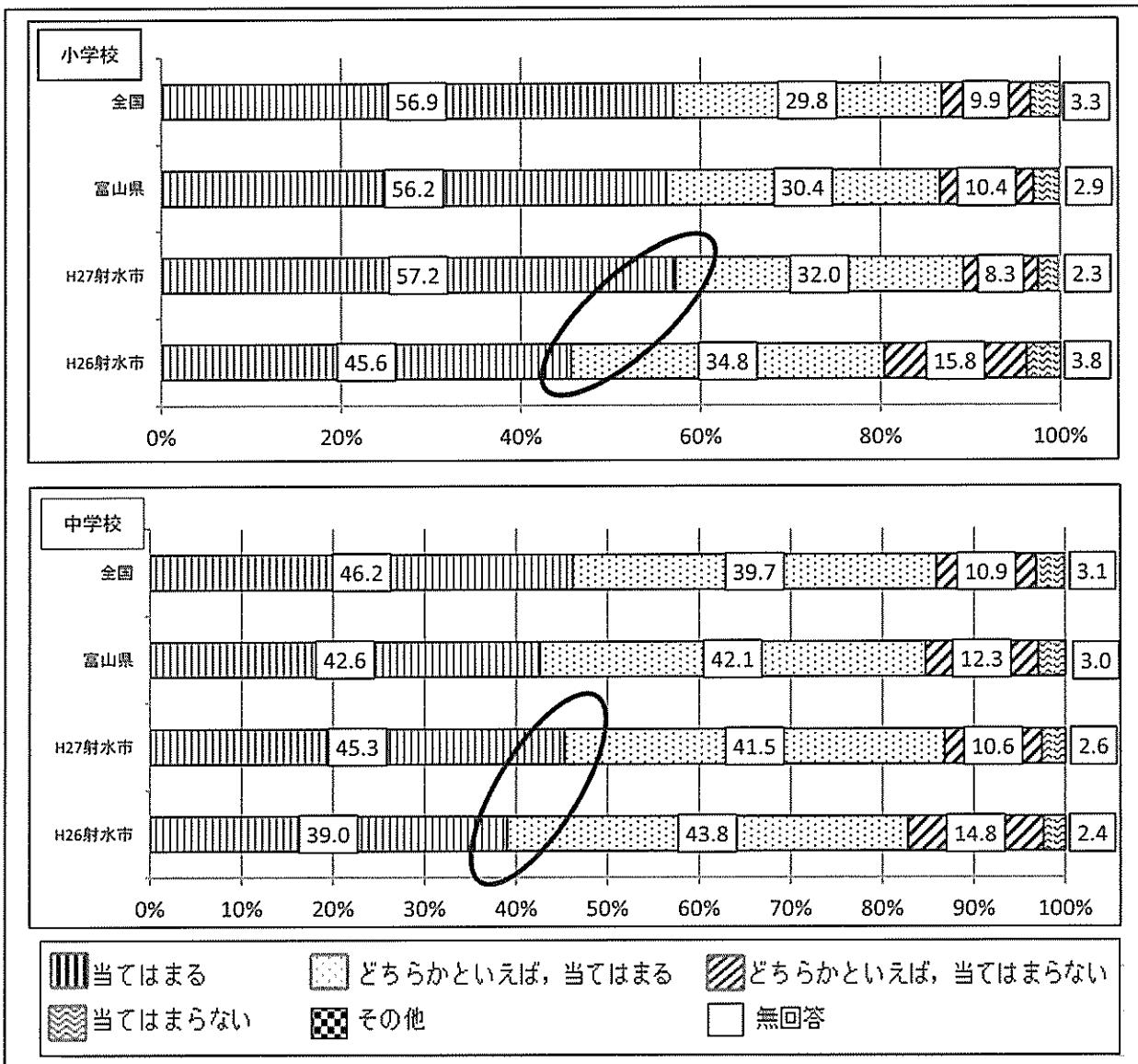
小学校で「している」割合は、昨年度に比べて14.3ポイント高くなっている。全国平均よりも15.7ポイント、県平均よりも7.7ポイント高い結果となった。また、「している」「どちらかといえばしている」割合では75.1ポイントに達している。

一方で、中学校では、「している」割合は、昨年度に比べて3.8ポイント低くなっている。また、全国平均より2.4ポイント低いが、県平均よりは1.8ポイント高い結果となっている。

小学校で復習の定着に改善がみられた要因のひとつとしては、市で取り組んでいる「家庭学習ノート」を活用している児童が増えたことが考えられる。

【発表の機会】（児童生徒質問紙より）

Q8 授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。



【考察】

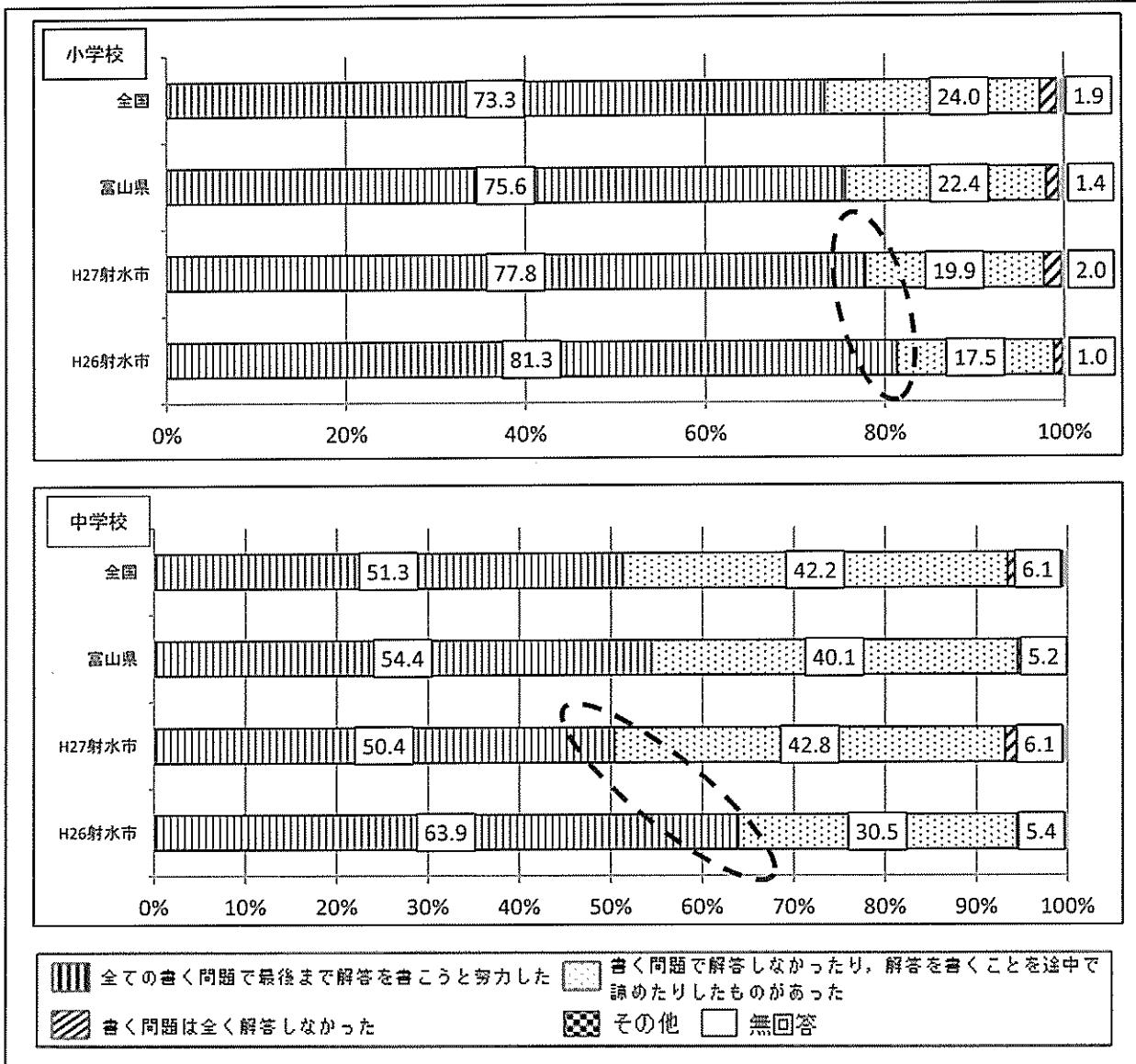
小学校の「当てはまる」割合は、昨年度に比べて11.6ポイント高くなっています。全国平均、県平均よりも高い結果になりました。また、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合では89.2ポイントに達しました。全国平均、県平均よりも高くなっています。

中学校でも「当てはまる」割合が昨年度に比べて6.3ポイント高くなっています。全国平均からは若干低くなっているものの、県平均よりも高い結果になりました。また、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」割合では86.8ポイントに達しました。小学校と同様に全国平均、県平均よりも高くなっています。

授業中に考えを発表する機会が与えられていたと感じる児童生徒の割合が小中学校ともに高くなっていることから、「分かる授業」「学び合う授業」の実践がなされていることが伺える。また、授業で発表することが、児童生徒の自尊感情の高まりにもつながっていると考えられる。

**【算数・数学】** (児童生徒質問紙より)

Q 9 言葉や数、式を使ってわけや求め方などを書く問題は、どのように解答しましたか。



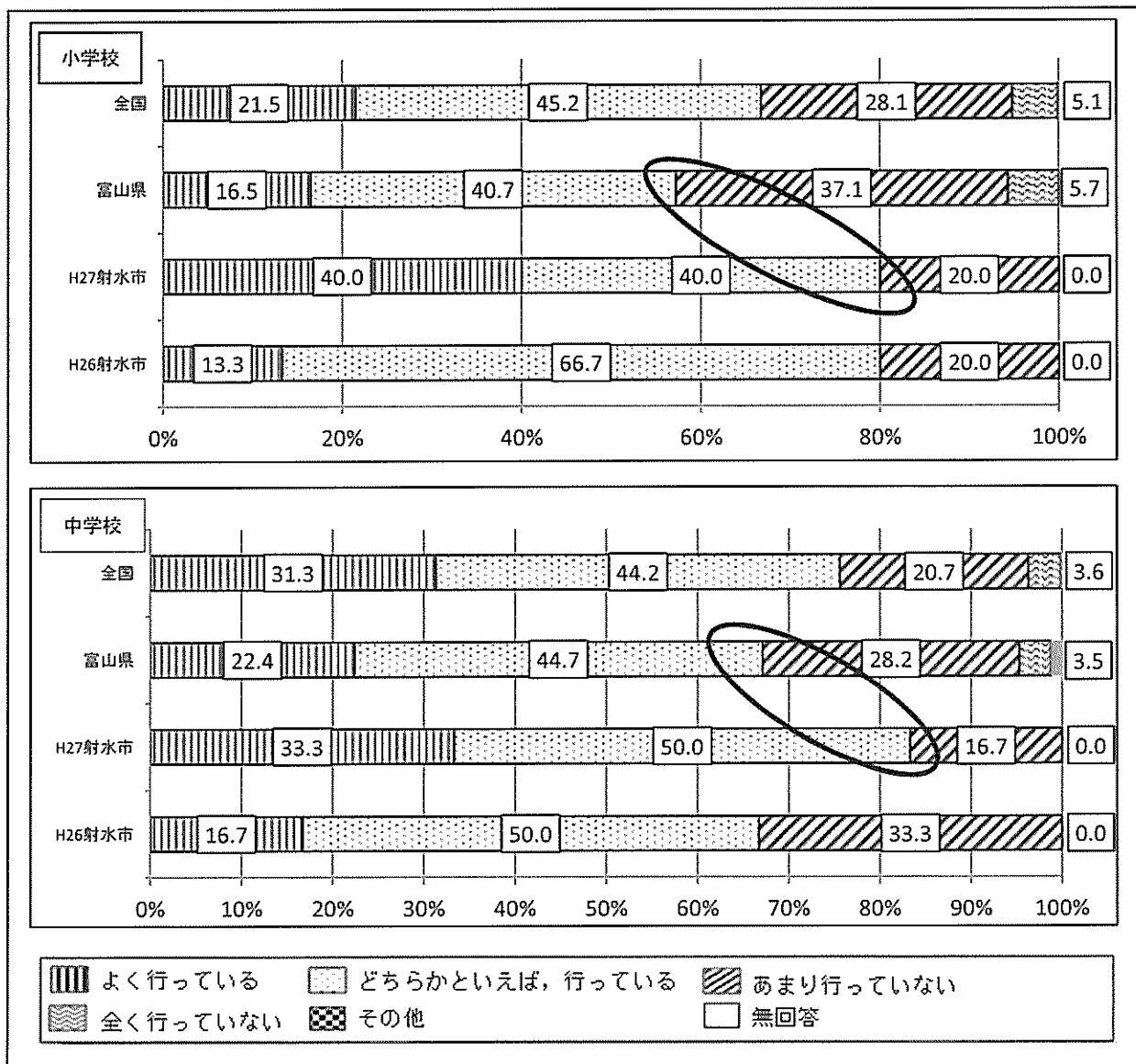
**【考察】**

小学校の「全ての問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合は、全国平均、県平均よりも高い結果となったものの、昨年度に比べて3.5ポイント低くなっている。中学校でも「全ての問題で最後まで解答を書こうと努力した」割合は、昨年度に比べて13.5ポイント低くなってしまっており、全国平均、県平均よりも低い結果となっている。

小中学校ともに、算数・数学の論理的に記述する問題への取組を最後まで努力することには課題がある結果となっている。苦手意識を減らし、あきらめずに取り組むことができるような手立てを考えていく必要がある。

【小中連携】（学校質問紙より）

Q10 近隣の小学校と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っていますか。



【考察】

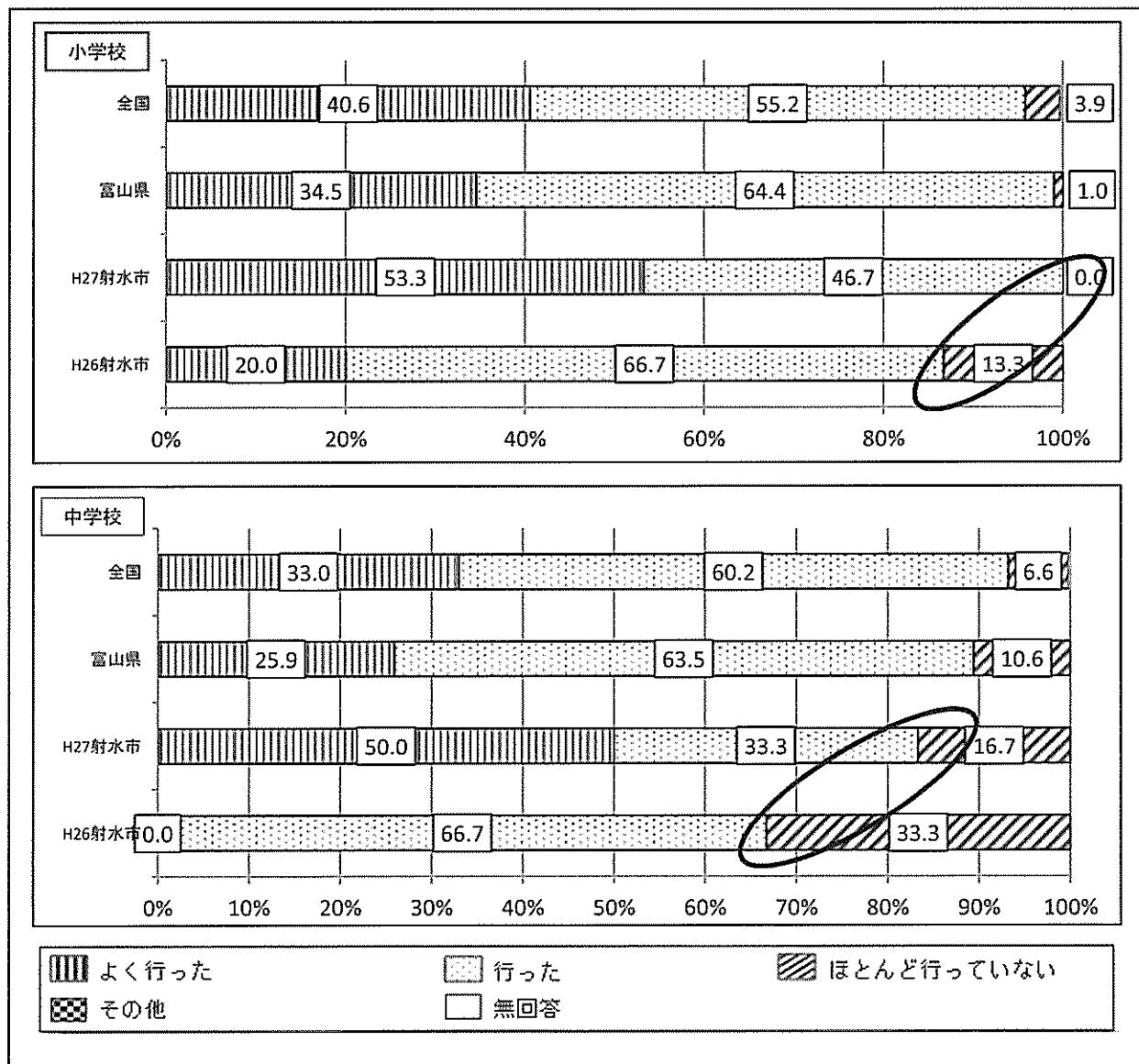
小学校で「よく行っている」割合は、昨年度から大幅に高くなり40ポイントに達しており、全国平均、県平均と比べても約20ポイント高い結果となっている。また、「よく行っている」「どちらかといえば行っている」割合では80ポイントに達している。

中学校も、「よく行っている」「どちらかといえば行っている」割合は83.3ポイントに達し、全国平均、県平均と比べて高い結果となっている。

要因には、市内各中学校区を単位として行っている小中教員の合同研修会の実施が挙げられる。学習面の取組や課題点を共有することで、より活発に小中の連携が行われていると考えられる。

### 【教育活動の改善】（学校質問紙より）

Q 1 1 平成 2 6 年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか。



### 【考察】

小学校の「よく行った」割合は53.3ポイントで、昨年度と比べて33.3ポイント高くなっている。また、県平均、全国平均と比較しても高い結果となっている。「よく行った」「行った」割合が100ポイントに達している。中学校も「よく行った」「行った」の割合が、高い結果となっている。

市内の中学校とともに、昨年度の全国学力・学習状況調査の分析結果を、以前よりも積極的に各校の教育活動の改善に活用していることが分かる。

#### IV 今後の射水市の取組

## IV 今後の射水市の取組

射水市教育振興基本計画（平成27年2月）施策に明記された「確かな学力の定着」に鑑み、学力向上委員会では、以下のように重点的に取り組むべき事項を提示する。

- ① 全ての児童生徒が分かる授業を目指した研修の充実
- ② 基礎的・基本的な知識および技能の確実な習得
- ③ 活用（思考力・判断力・表現力等）する力の育成
- ④ 基本的生活習慣の確立・学習習慣の定着

### ◇具体的方策

#### ① 全ての児童生徒が分かる授業を目指した研修の充実

- 「射水スタンダード～授業のABC～」を作成し、授業を行うにあたっての基本的な指導事項を共通理解し、実践する。
- 射水市マイスター教員を任命し、優れた授業実践を、特に若手教員に公開し、実践的指導力の向上を図る。
- 若手教員指導力向上のため、互いに切磋琢磨できる研修の場を設定する。
- 全国学力・学習状況調査を分析し、その結果の活用について研修会を実施し、各校で児童生徒が分かる授業づくりや生活の改善に向けて取り組む。
- 小中教研学力調査等の結果を活用し、学習内容の定着度を把握し、授業改善や個別学習の充実に活かす。
- 全ての中学校区で小中連携合同研修会を実施し、学習指導での積極的な連携を推進する。また、学力向上研究委託校を中学校区単位で指定する。
- 「学級診断尺度調査（Q-U調査）」を実施し、調査結果を活用して、望ましい学級集団づくりのための研修の場を、各校で設定する。

## ② 基礎的・基本的な知識および技能の確実な習得

- 学習につまずいている児童生徒の学力の定着を図るため、補充的な学習サポートなど、個に応じた指導の場を工夫する。
- 中学校では、長期休業中等に、大学生等を講師とした補充的な学習を実施し、学力補充の機会を確保する。
- 単元確認問題（総教セホームページまたはall-ed 100教育センター）や、e-ライブラリーの問題等を有効に活用する。
- 中学校入学時に射水市新入生テストを行い、小学校の基礎的学習内容の定着の状況をきめ細かく把握し、今後の指導に活かす。

## ③ 活用（思考力・判断力・表現力等）する力の育成

- 自分の考えをもつ、論理的に整理する、学習の成果の確認をするなど、目的を明確にした「書く活動」を充実させる。
- 全国学力調査問題を活用した「B 問題に挑戦 一学年別プリント集一」（県教委作成）や「授業アイディア例」（文科省作成）を年間指導計画に位置付けて授業等で活用する。

## ④ 基本的生活習慣の確立・学習習慣の定着

- 身に付けさせたい学習規律を明確にし、指導を徹底する。
- 各校で、家庭での学習習慣の定着を図る。また、授業内容と関連した家庭での学習課題を工夫する。
- 各校の「家庭学習の手引き」や「家庭学習の仕方」等のデータを市内で共有し、有効活用する。
- メディア使用時間のルール作りのための取組を検討し、実践する。
- 家庭との連携を図りながら、「早寝、早起き、朝ご飯」の指導を推進する。
- スポーツ少年団や中学校部活動の活動日、活動時間の在り方を PTA と連携して検討する。

## ② 基礎的・基本的な知識および技能の確実な習得

- 学習につまずいている児童生徒の学力の定着を図るため、補充的な学習サポートなど、個に応じた指導の場を工夫する。
- 中学校では、長期休業中等に、大学生等を講師とした補充的な学習を実施し、学力補充の機会を確保する。
- 単元確認問題（総教セホームページまたはall-ed 100教育センター）や、e-ライブラリーの問題等を有効に活用する。
- 中学校入学時に射水市新入生テストを行い、小学校の基礎的学習内容の定着の状況をきめ細かく把握し、今後の指導に活かす。

## ③ 活用（思考力・判断力・表現力等）する力の育成

- 自分の考えをもつ、論理的に整理する、学習の成果の確認をするなど、目的を明確にした「書く活動」を充実させる。
- 全国学力調査問題を活用した「B 問題に挑戦 一学年別プリント集一」（県教委作成）や「授業アイディア例」（文科省作成）を年間指導計画に位置付けて授業等で活用する。

## ④ 基本的生活習慣の確立・学習習慣の定着

- 身に付けさせたい学習規律を明確にし、指導を徹底する。
- 各校で、家庭での学習習慣の定着を図る。また、授業内容と関連した家庭での学習課題を工夫する。
- 各校の「家庭学習の手引き」や「家庭学習の仕方」等のデータを市内で共有し、有効活用する。
- メディア使用時間のルール作りのための取組を検討し、実践する。
- 家庭との連携を図りながら、「早寝、早起き、朝ご飯」の指導を推進する。
- スポーツ少年団や中学校部活動の活動日、活動時間の在り方を PTA と連携して検討する。

## 射水スタンダード～授業のABC～【小学校】

1  授業の開始と終了時刻を守っている。

- ・子供たちは、時間を意識して学習活動に取り組むことができます。
- ・オンとオフをしっかり切り替え、メリハリをつけることで、授業に集中することができます。
- ・休み時間を確保することで、新鮮な気持ちになり、やる気につながります。

2  学習課題を黒板に明示している。

- ・身に付けさせたい力（ゴールの姿）を教師自身が明確にして授業を構想することができます。
- ・提示する際には、学習の流れや子供の思考に沿っているのか、再確認することができます。
- ・子供たちは、見通しをもって学習に臨むことができます。
- ・学習課題に応じた適切な振り返りやまとめ方を選考することができます。

3  チョークの色を使い分けている。

- ・「白」チョークを基本にし、「黄」はポイントやキーワード、「赤」は囲みやアンダーライン等、補助的に使います。
- ・チョークの色を使い分けることは、子供の思考を整理したり深めたりするのに有効です。

4  振り返りの場を設定している。(終末)

- ・1時間の時間配分を考えて授業を行うことができます。
- ・振り返りの方法（感想を書く、分かったことや友達から学んだことを自分の言葉でまとめる、確認問題を解くなど）を工夫することで、自らの学びが実感でき、学習内容の定着が図られます。
- ・子供自身が自らの成長や変容を実感する場となり、学習意欲が高まります。

5  積極的にほめている、認めている。

- ・子供たちの自己肯定感が高まります。
- ・子供たちのよいところが、どんどん見えてきます。
- ・子供たちのよい芽がぐんぐん伸びます。
- ・子供たちに自信がつき、学習意欲が高まります。

## 射水スタンダード ~授業のA B C~

### 【中学校】



#### ち時間の流れを明確に

《生徒に十分な活動時間を！》

- 1時間の授業の課題を示していますか
- 生徒が主体的に活動する時間はありますか
- 授業の終末に振り返りの場面がありますか



#### じかい文ですっきり・はっきり

《生徒に明確な指示と説明を！》

- 一時に一事の指示・説明をしていますか
- 一文を短く話していますか
- 生徒の目を見て大きな声で話していますか



《タイミングが大切！

ルール違反・つまずき・認めるチャンス》

- 授業の開始、終了時刻を守っていますか
- 生徒の私語をなくす手立てをとっていますか
- 活動できない生徒に対する手立てをとっていますか